

オークの花嫁たち

〜高潔な女騎士は
雌に墮とされ愛される〜



オークの花嫁たち

～高潔な女騎士は
雌に墮とされ愛される～

私は女騎士だ。

こっちに來い



ふざけるな！

キッ

必ずお前を
殺してやる！

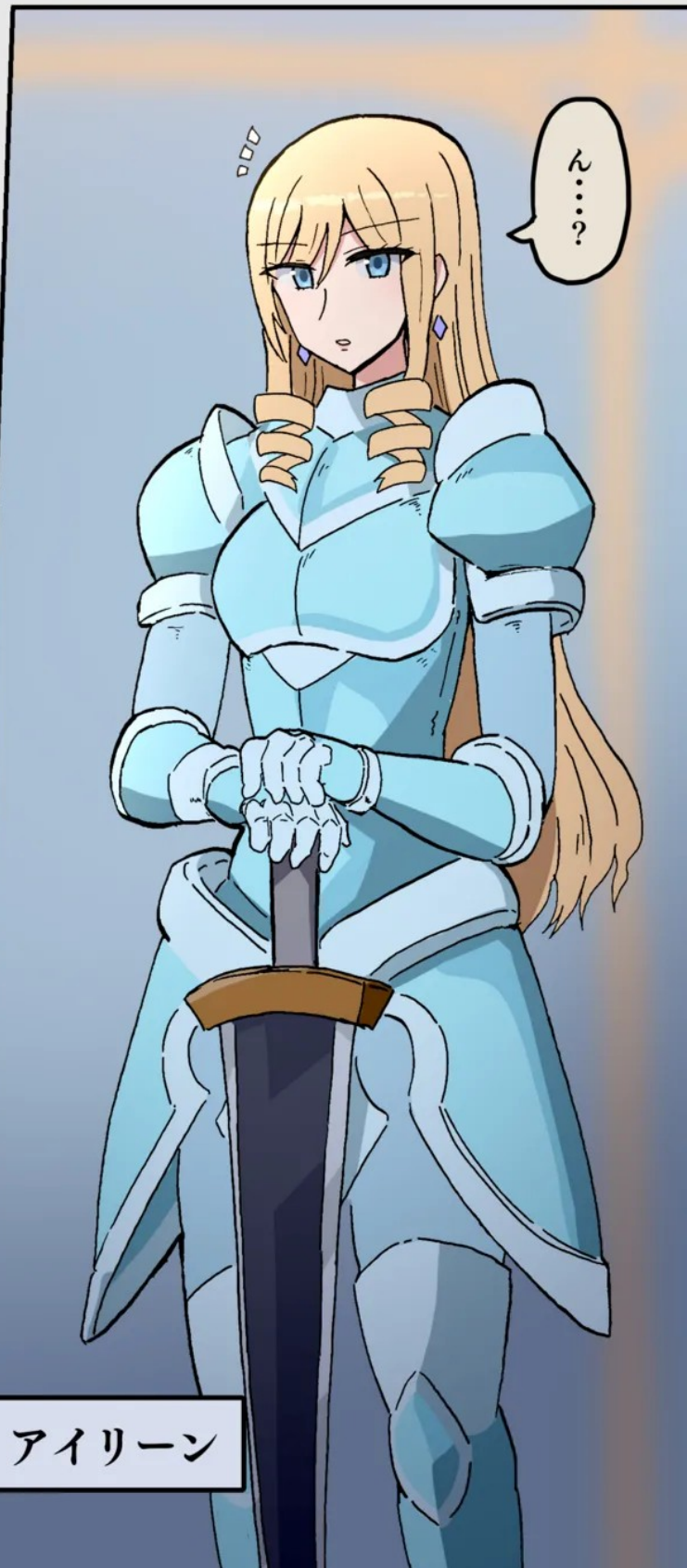
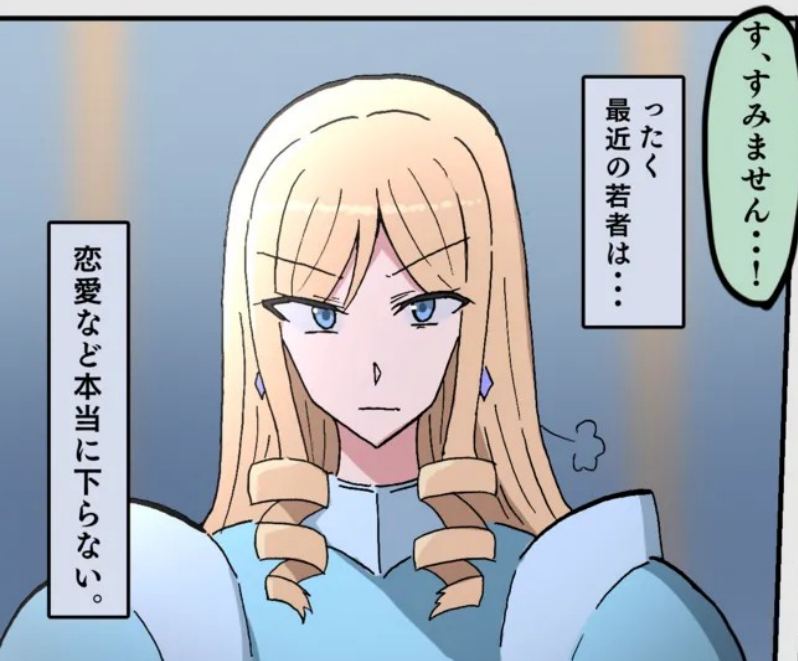
ムニム

先日、こいつとの戦いに負け
奴隷にされてしまった。

この生活にも
慣れたか？



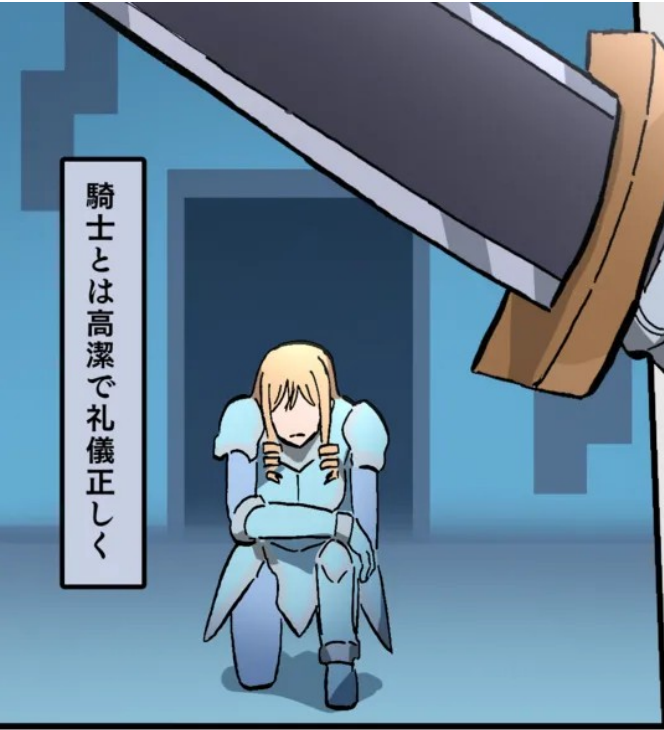
私は戦場で経験を積み、
新米騎士の教官をしていた。



騎士の務めは神に代わり
人々を守り魔族と戦う事だ。



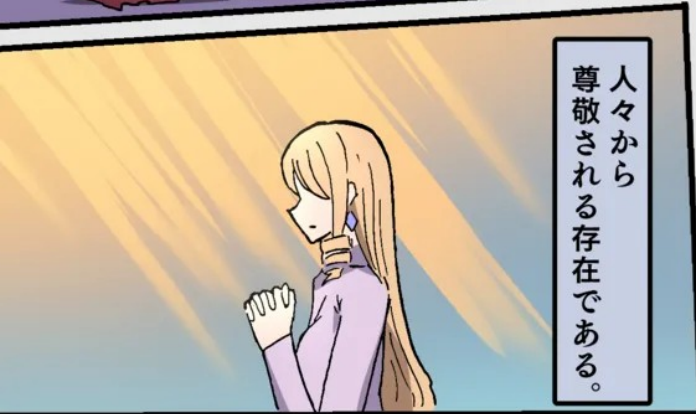
騎士とは高潔で礼儀正しく



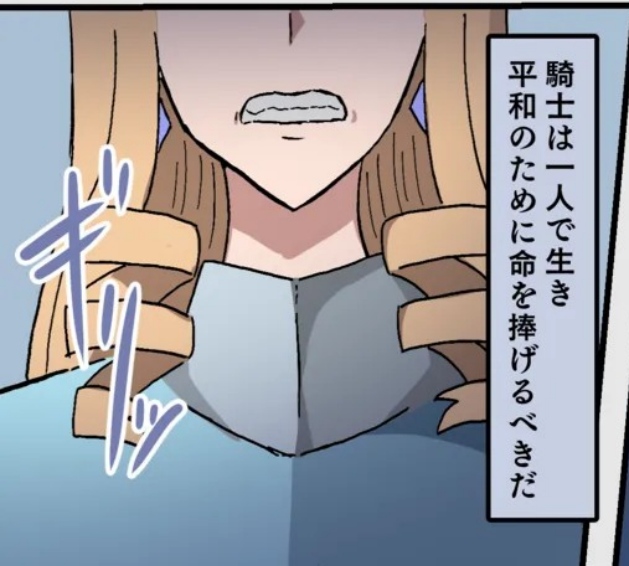
強くて勇敢であり



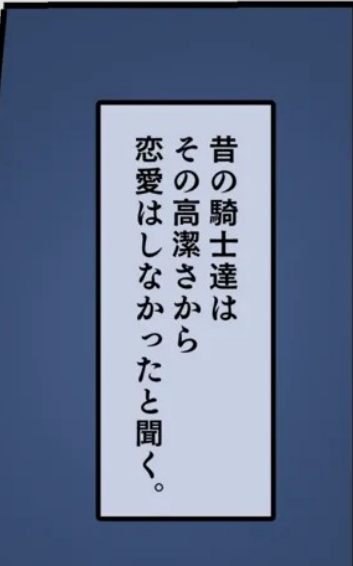
人々から
尊敬される存在である。



騎士は一人で生き
平和のために命を捧げるべきだ



昔の騎士達は
その高潔さから
恋愛はしなかったと聞く。



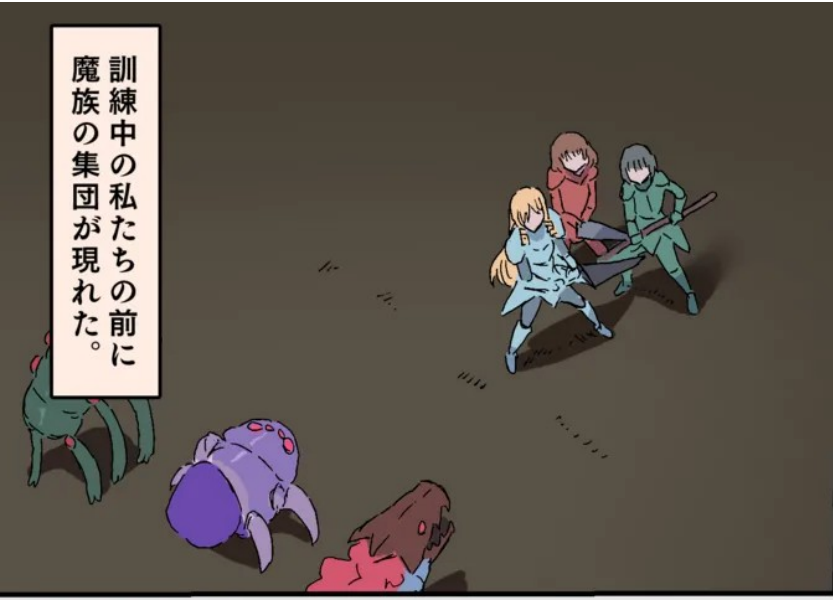
しかし最近
は軽い気持ちで騎士を
目指す軟弱な若者が
増えてきた。



それから数日後



訓練中の私たちの前に
魔族の集団が現れた。



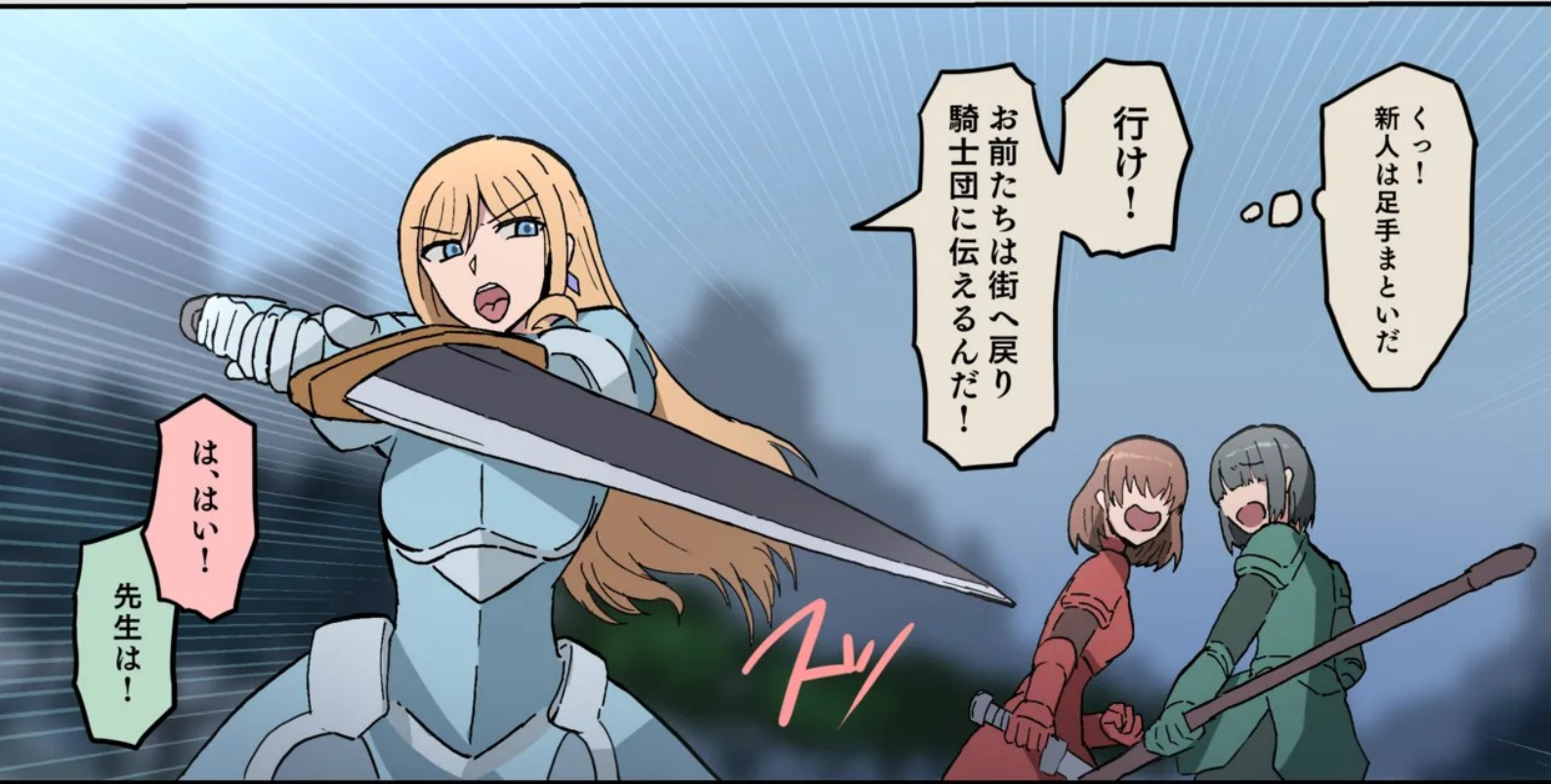
くっ！
新人は足手まといだ

行け！

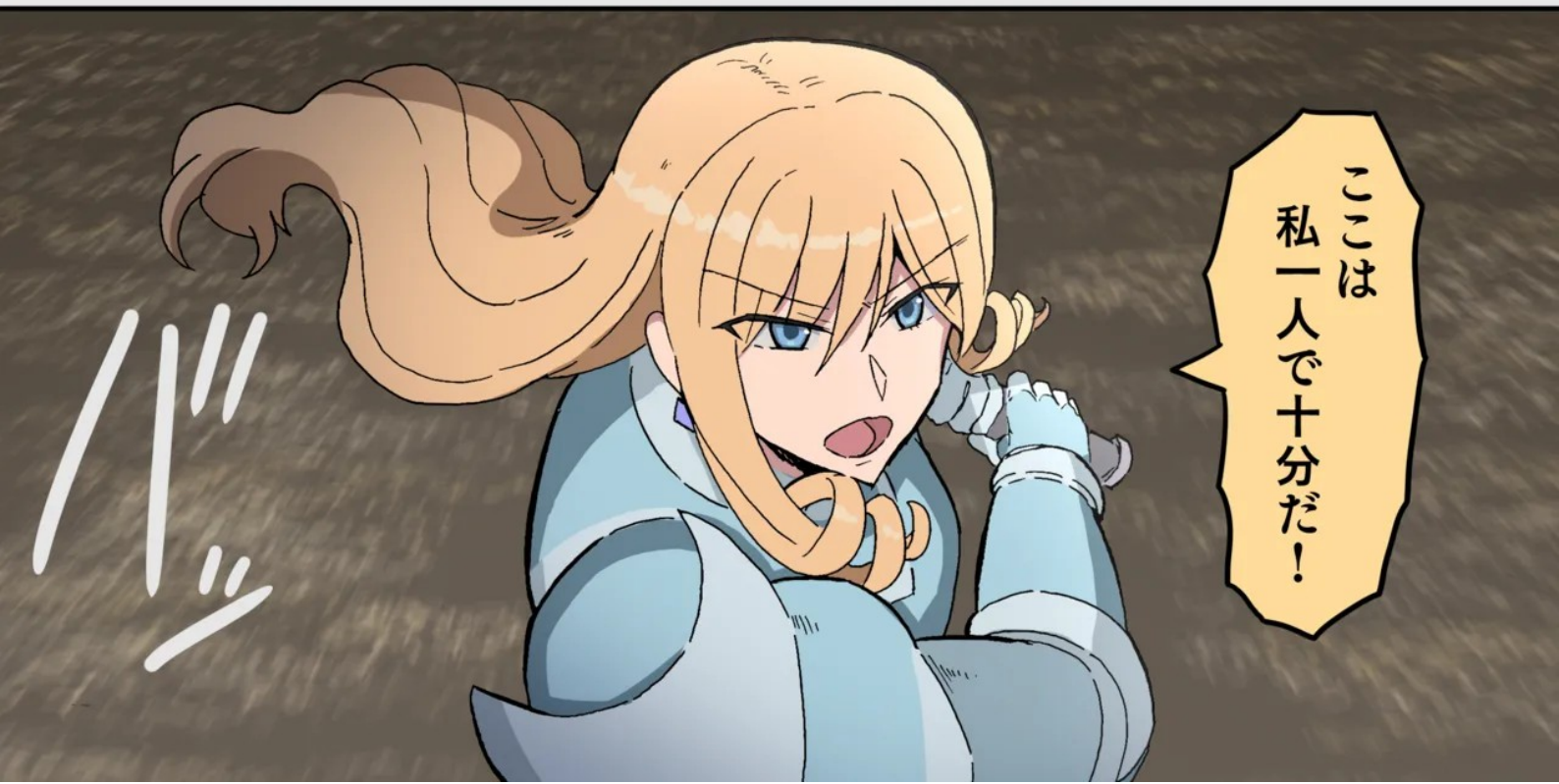
お前たちは街へ戻り
騎士団に伝えるんだ！

はい！

先生は！



ここは
私一人で十分だ！



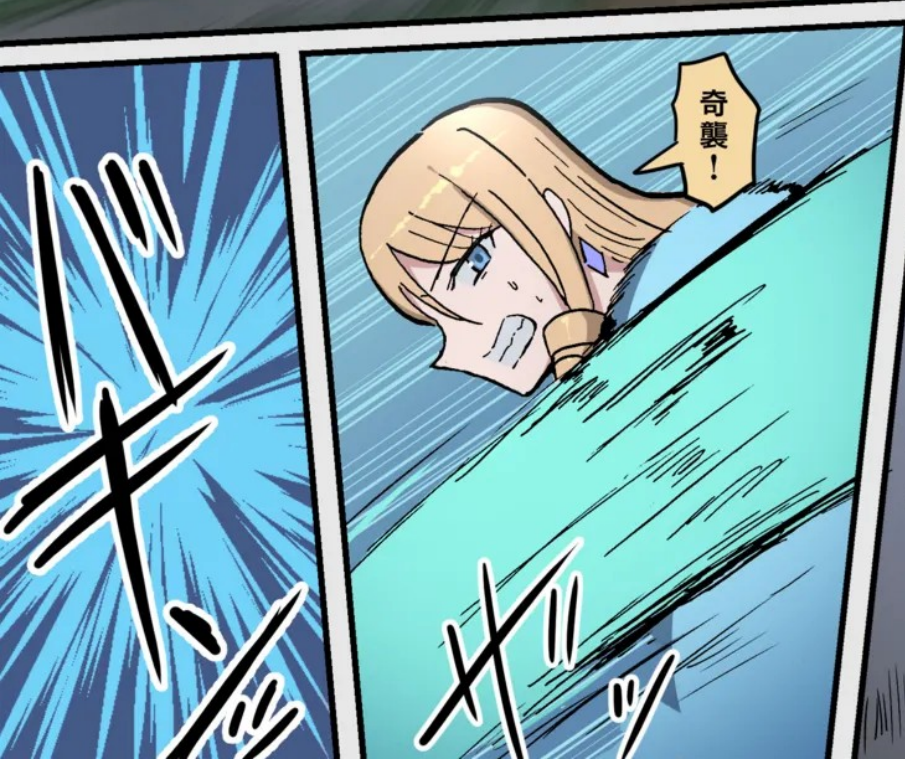
私は次々に襲い来る
魔族を叩き斬っていった。



敵を全て倒したと
思ったその時…

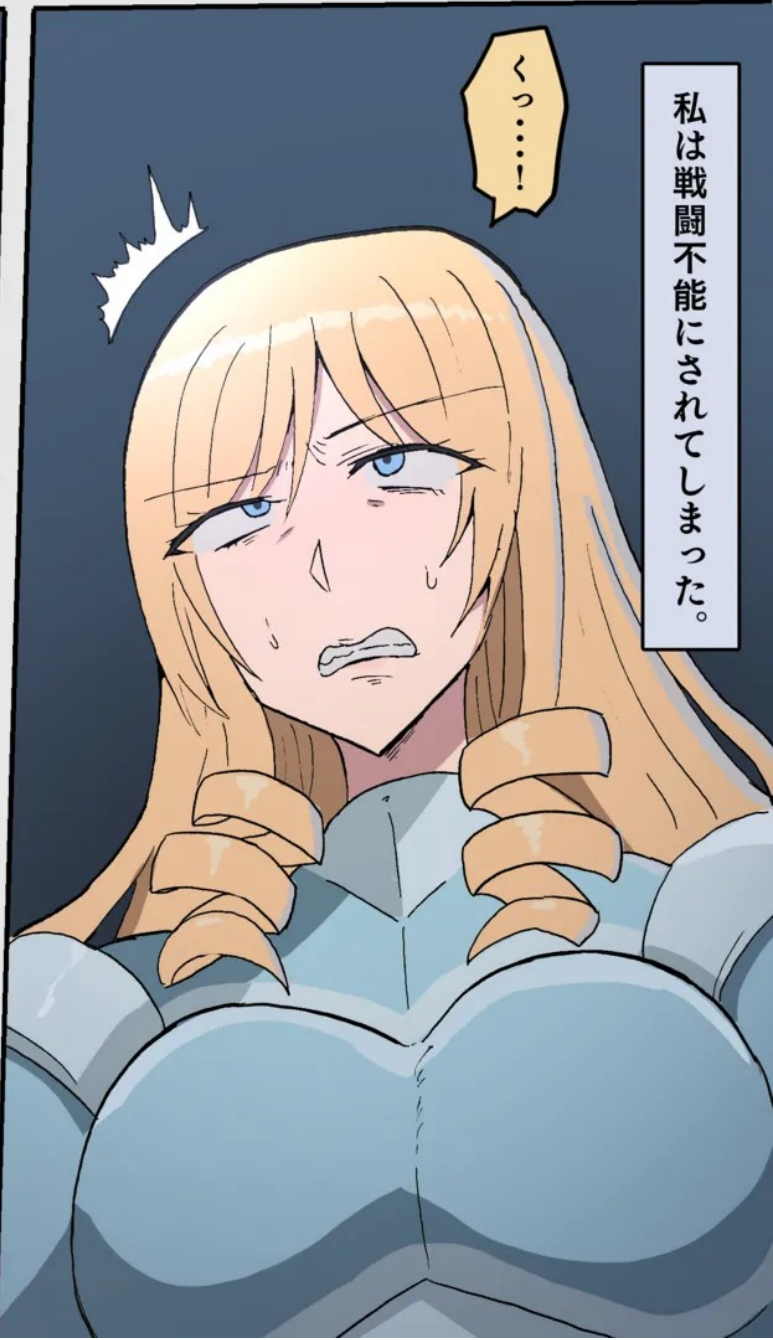
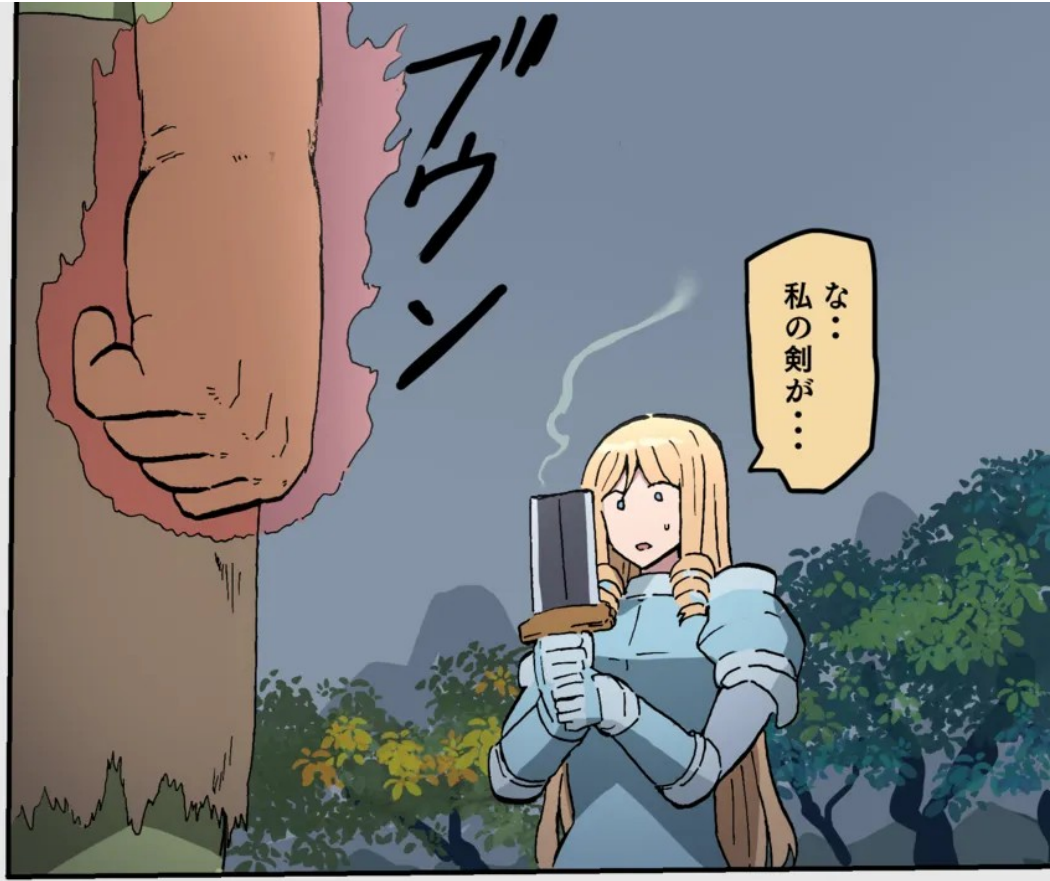


奇襲!



ヤツが現れた。





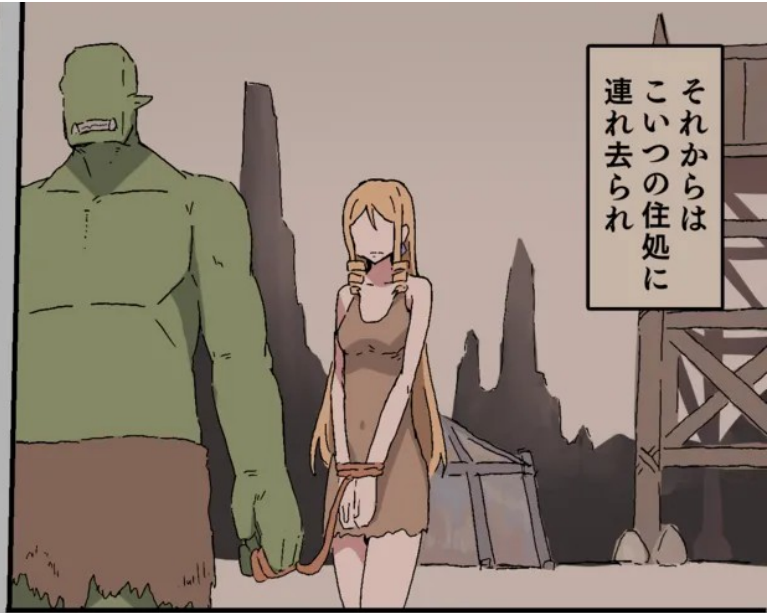
私は穢されてしまった。

オレたちの
印が付いたな

必ずオレの
雌にしてやる…!

必ず…

それから
こいつの住処に
連れ去られ



何度も犯されて続けた。



今日も
調教を続けるぞ

ブルムン

...

コイツは私を
自身の雌にすると
言っていた。
つまるところ性奴隷
の事だろうか。

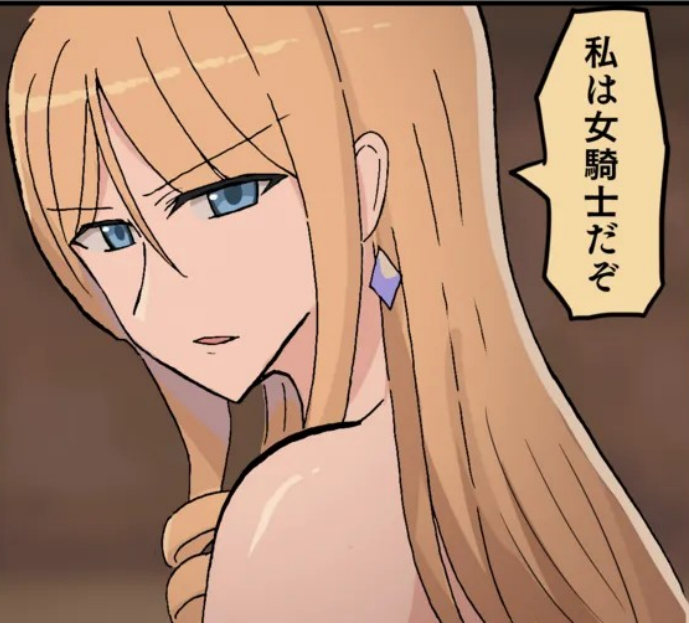
ビクビク

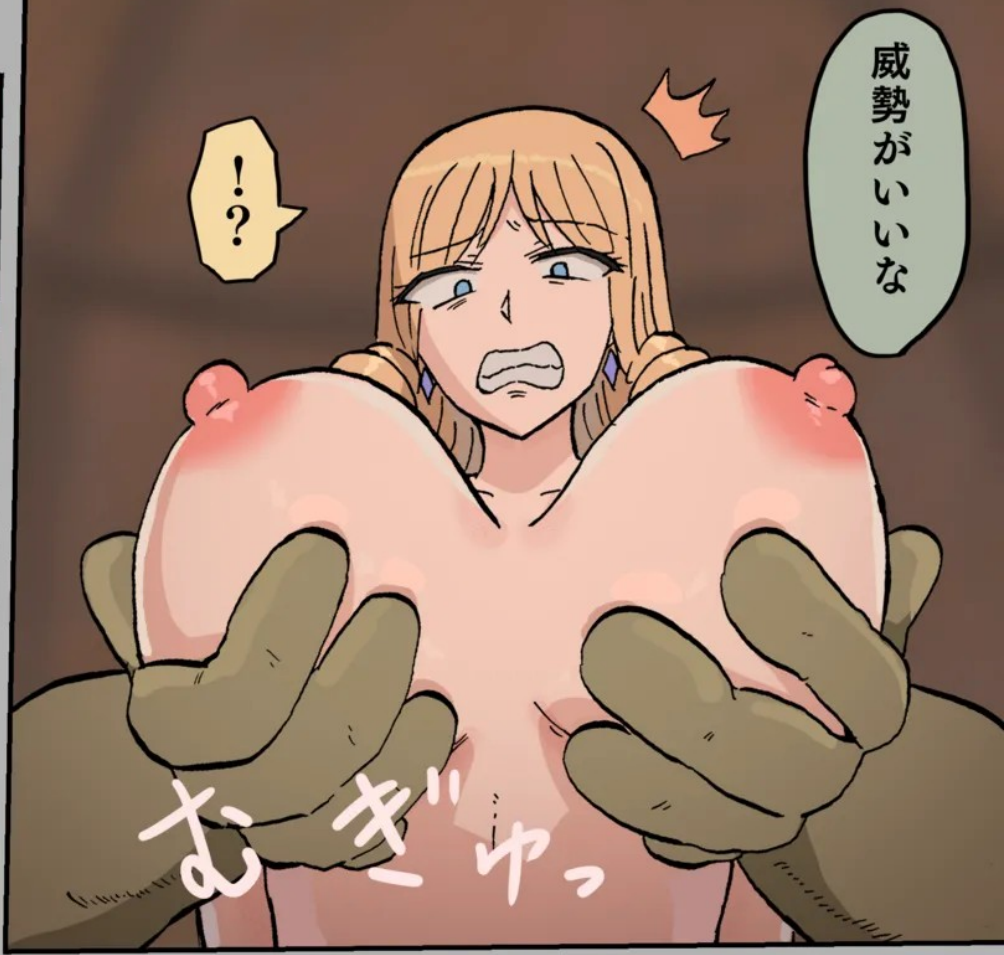
人の命を奪うだけではなく
尊厳も汚すとは
やはり魔族は滅ぼすべき存在だ。

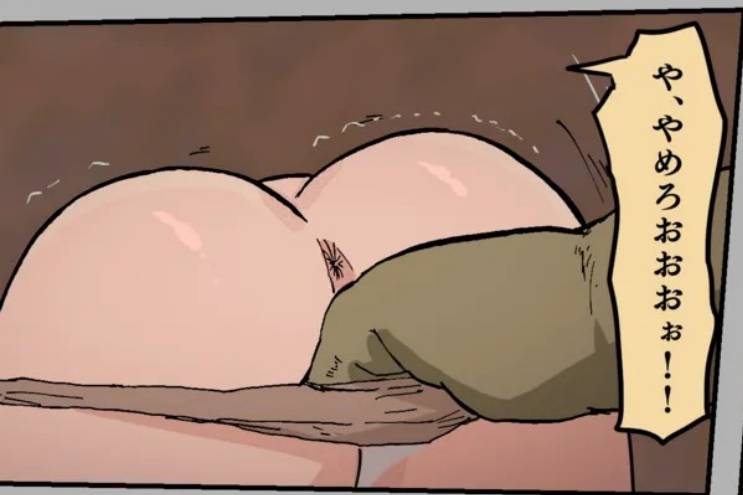
必ず寝首を襲い
ここを脱出してみせる！

私は女騎士だぞ

お前の雌になど
決してなりはしない







いい眺めだ
アソコが丸見えだぞ

それに少し
濡れているな

そんな
馬鹿な事が!

今すぐ
ふちこんでやる!

ピトッ

また穢されてしまう!

どうだ！
奥まですんなり
入るようになってきたな！

ズキョ

ズキョ

ズキョ

中の具合もなかなかだ！
もう絡みついてくるぞ！

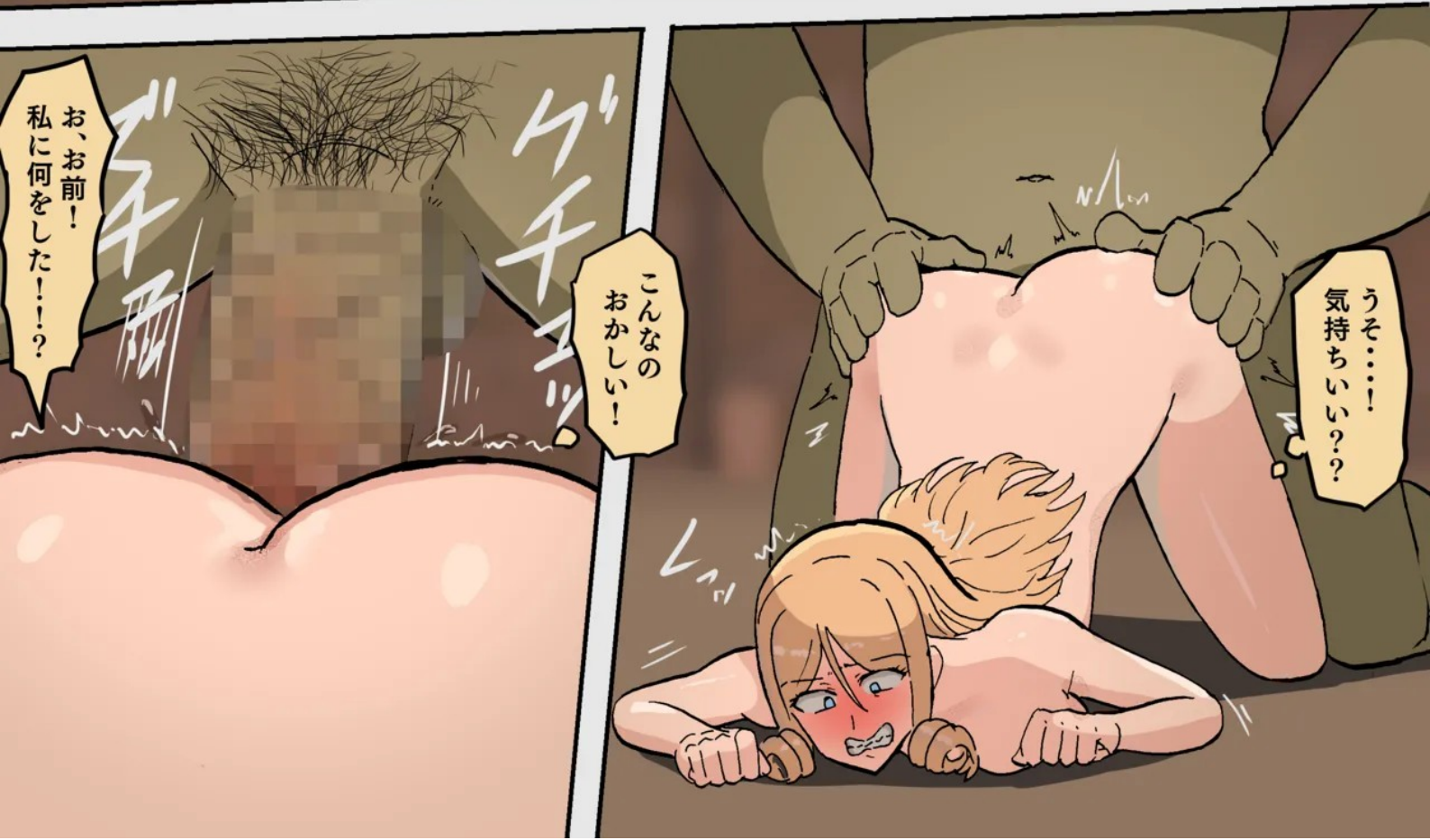
うそ……！
気持ちいい？

こんなの
おかしい！

お、お前！
私に何をした……！？

ズキョ

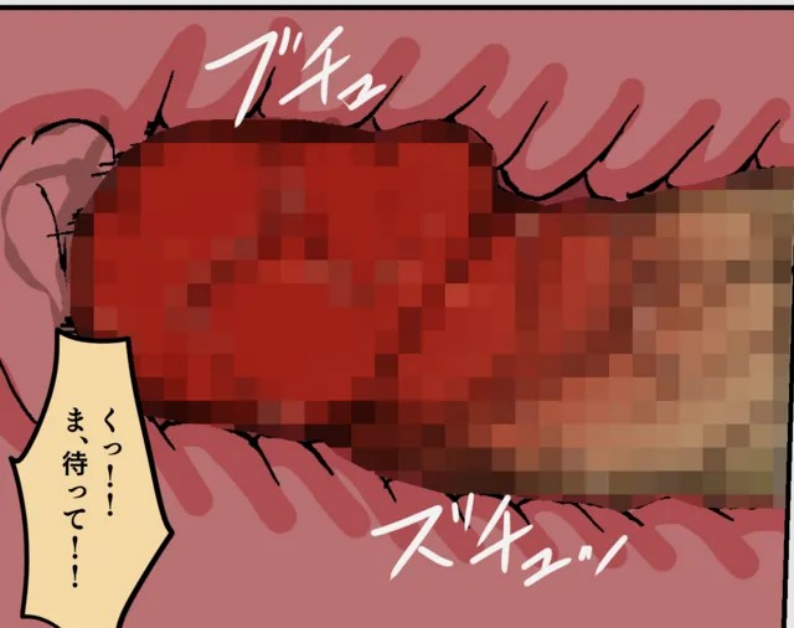
ズキョ

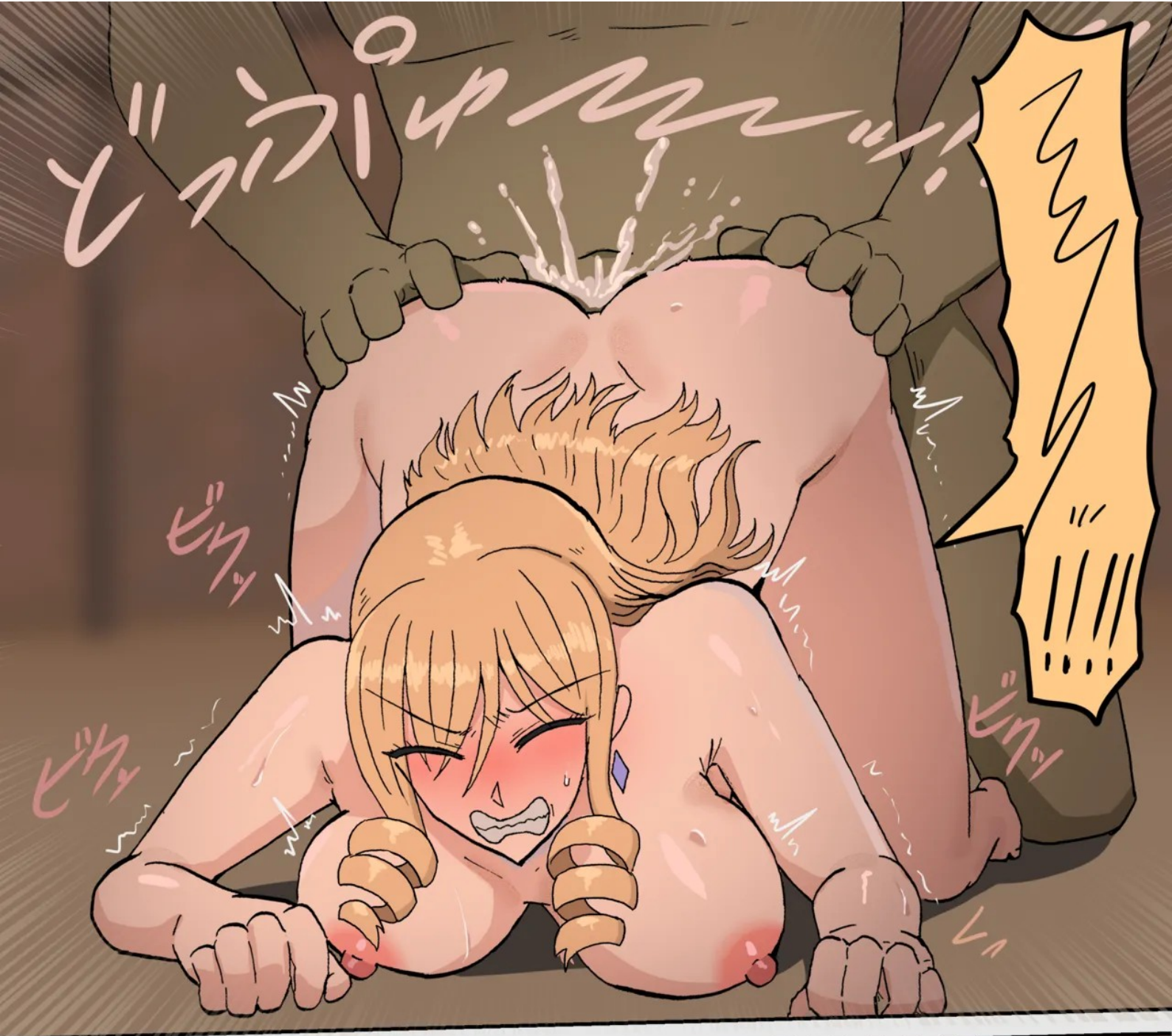


お前の身体に雌の印を刻んだ
それは精液に含まれる魔力を吸収し
お前の身体を内側から変えていく

その印が大きくなる頃には
お前は立派な雌になっているだろうな

そ、そんな……!







私は快楽を抑えることができなくなっていた。

おっおっ
おっおっ



それから私は何日も犯され続けた。

ジュッジュッ...



こんな事して!!!
ただで済むと思うなよ!!!
わかっているのか!?

私はあの誇り高い...
んおっおっおっ

ちくびい
やめ!!

身体は日に日に敏感になり

やめてええ

あああああ!!...!!...!!
汚らわしい!!
やめろおお!!...!!

アソコは常に濡れ続け

おおおおお!!お!!お!!
お!!お!!お!!お!!お!!
お!!お!!お!!お!!お!!

ヤツの身体を求めるように
なってしまうた。



もうやめてえー!!!



なんで...?
なんでこんなに...!!!

なんでこんなに
気持ちいいの!?



あああああ!!



私の身体…

どうなって
しまうの…？



Why!!!

ブルッ



どこか優しい...

それに
前と比べて



キスばかり...



最近コイツの
様子がおかしい...



いや、
私だけじゃない...



ダメだ...
身体が興奮してしまおうっ!!



こいつも
興奮している???



きっと私の身体の影響だ

私の身体は雌の姿に変えられてしまったんだ
そして、この身体からは卑猥な匂いがする

この匂いがこいつを
興奮させているんだ…!!

はあっ…
むわっ…

はあっ…

ムキッ

むわ

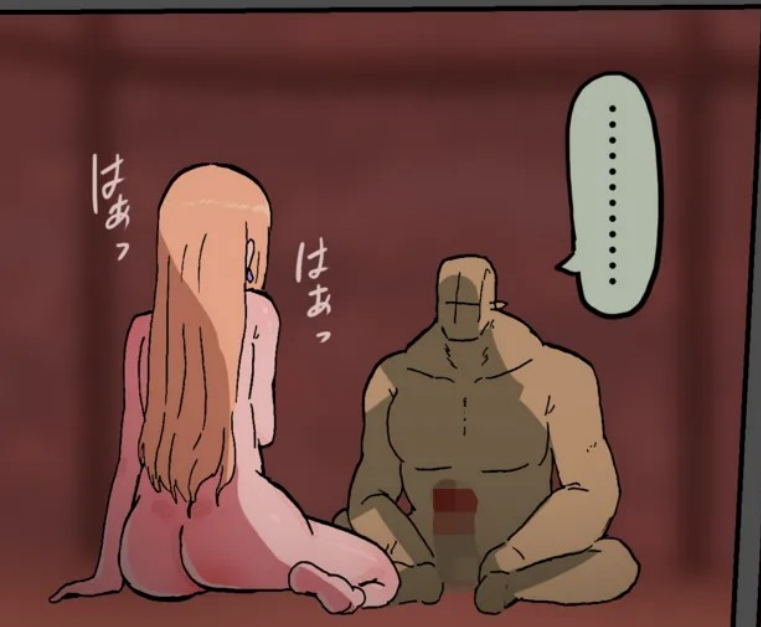


……



駄目っ…!
私も変な気持ちに
なってしまう…

キッ



お前はもう
オレの雌だ



それなら雌相應に
扱うのがオレの流儀だ

はぁ
はぁ

!?



そうか...

雌というのはコイツに
とって名譽ある言葉なのか？

わたしははっきり性奴隷の
ような存在だと思っていた。

弄ばれ、縛られ、飽きたら
殺される存在だと思っていた。

でもそれは間違いで
きつと私たちが言う恋人に
近い言葉なのかもしれない



それって つまり...

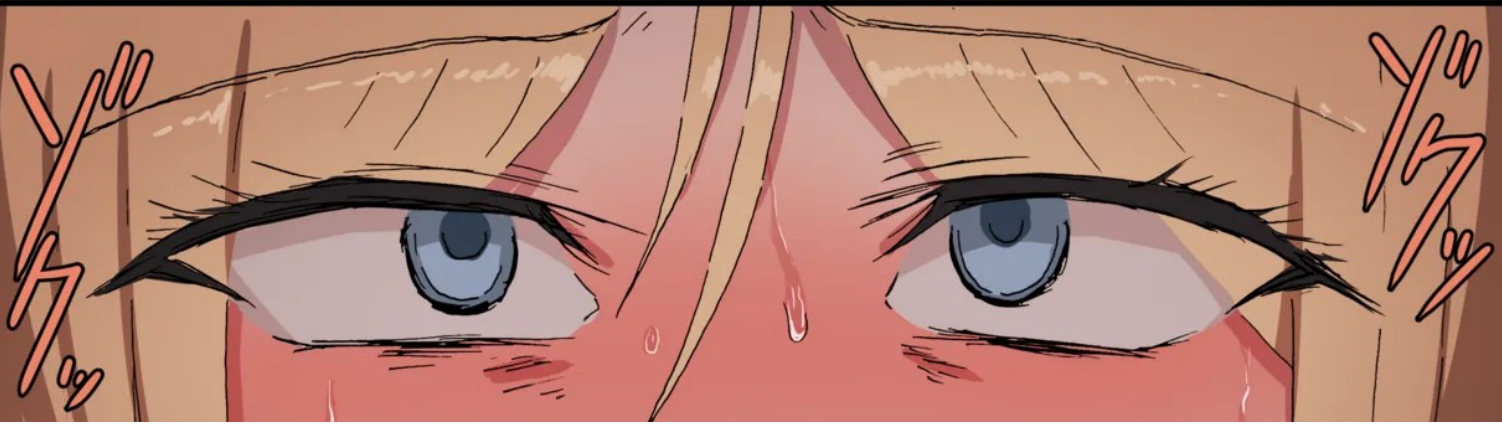


ソクッ

ズクッ

この私を

愛してくれるという事なのか？





ぐちゅっ

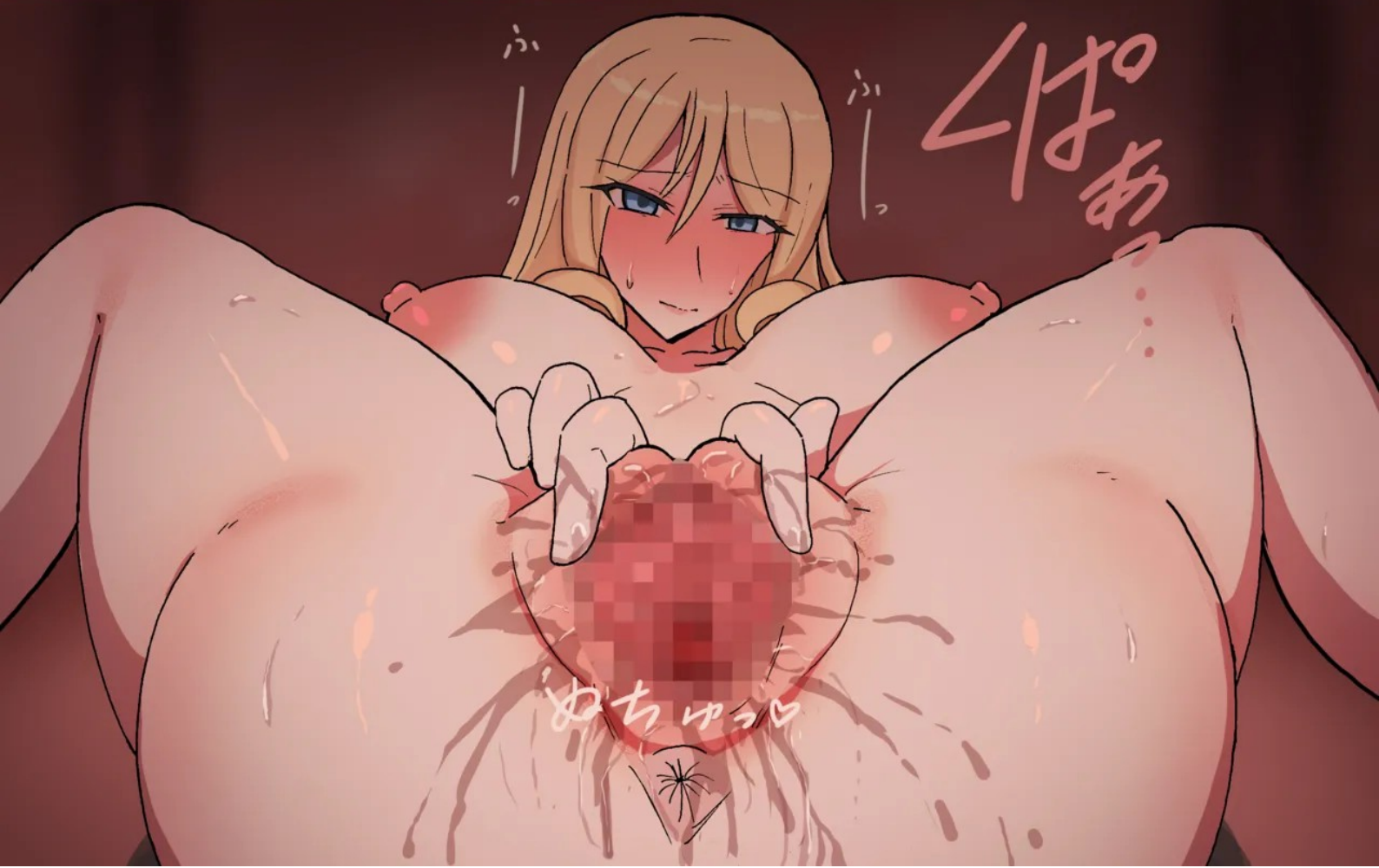


グイッ

これから
やってはいけない事を
やっってしまう...



私...



はぁ

ぐちゅっ♡



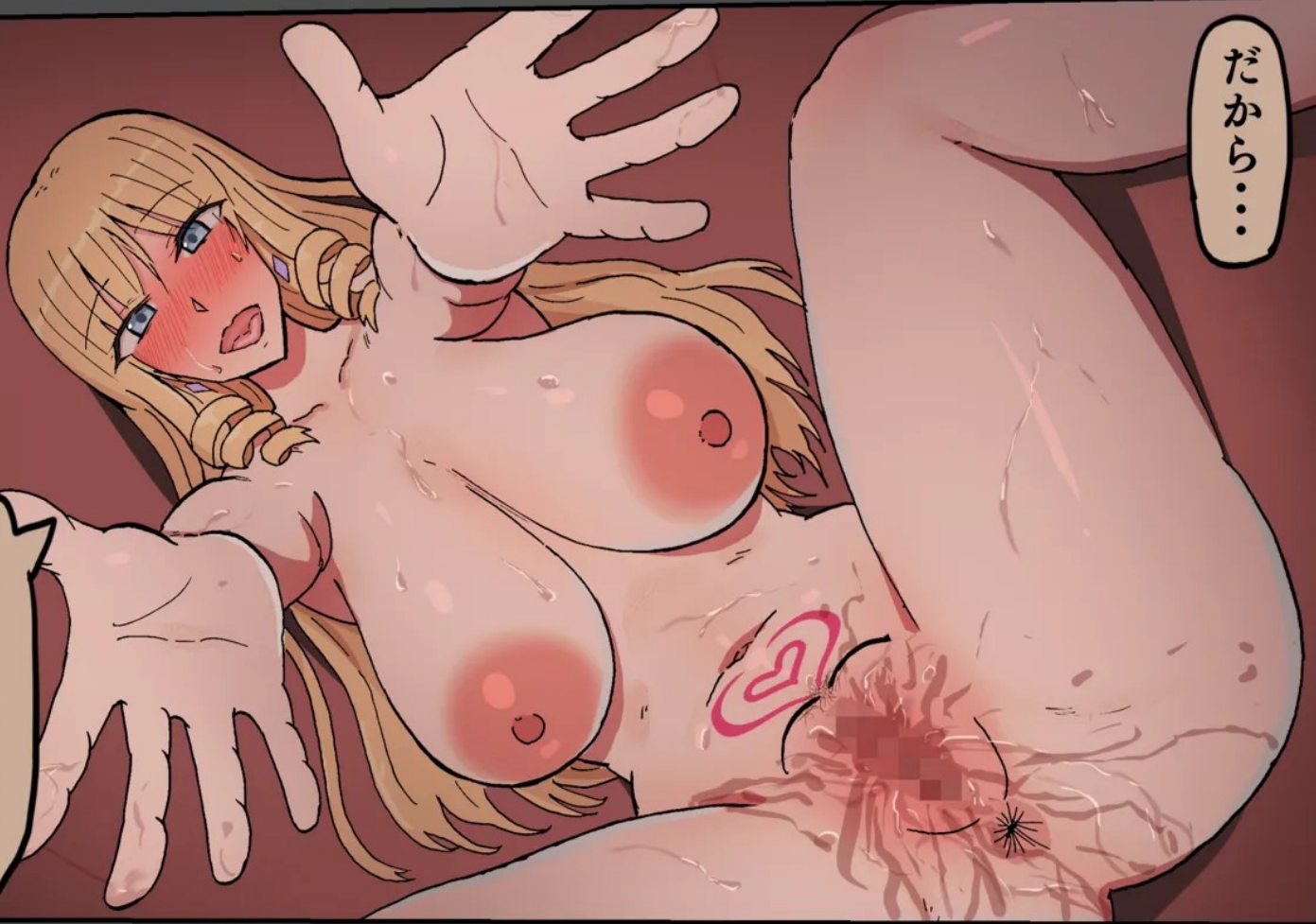
はぁっ はぁっ

敵の事を知らなければ
戦えないからな...



か、勘違いするなよ

これは...
そう作戦だ!



だから...

フッ

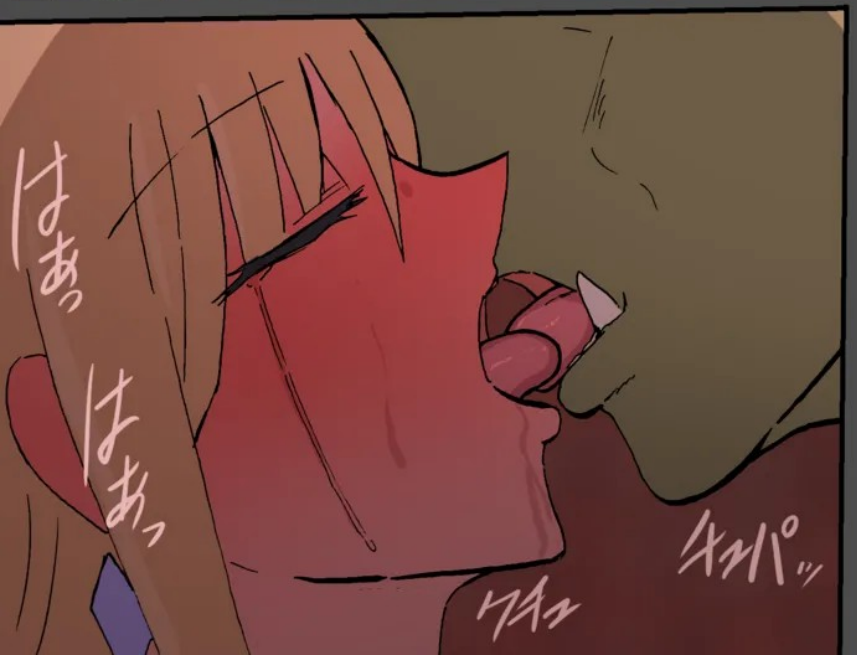
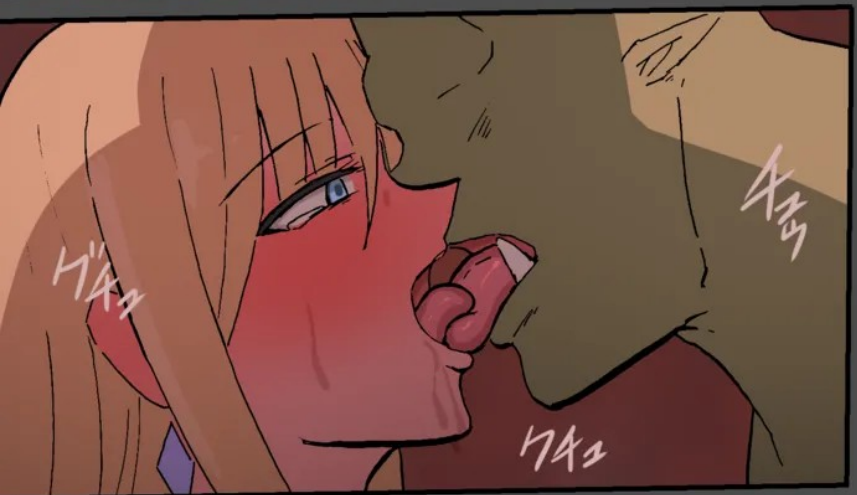
もっとお前の事を
教えてくれ...!!



はぁっ

はぁっ

ズッ





ああ…!

びりっ
あっ
びりっ

お前はもう
騎士ではない

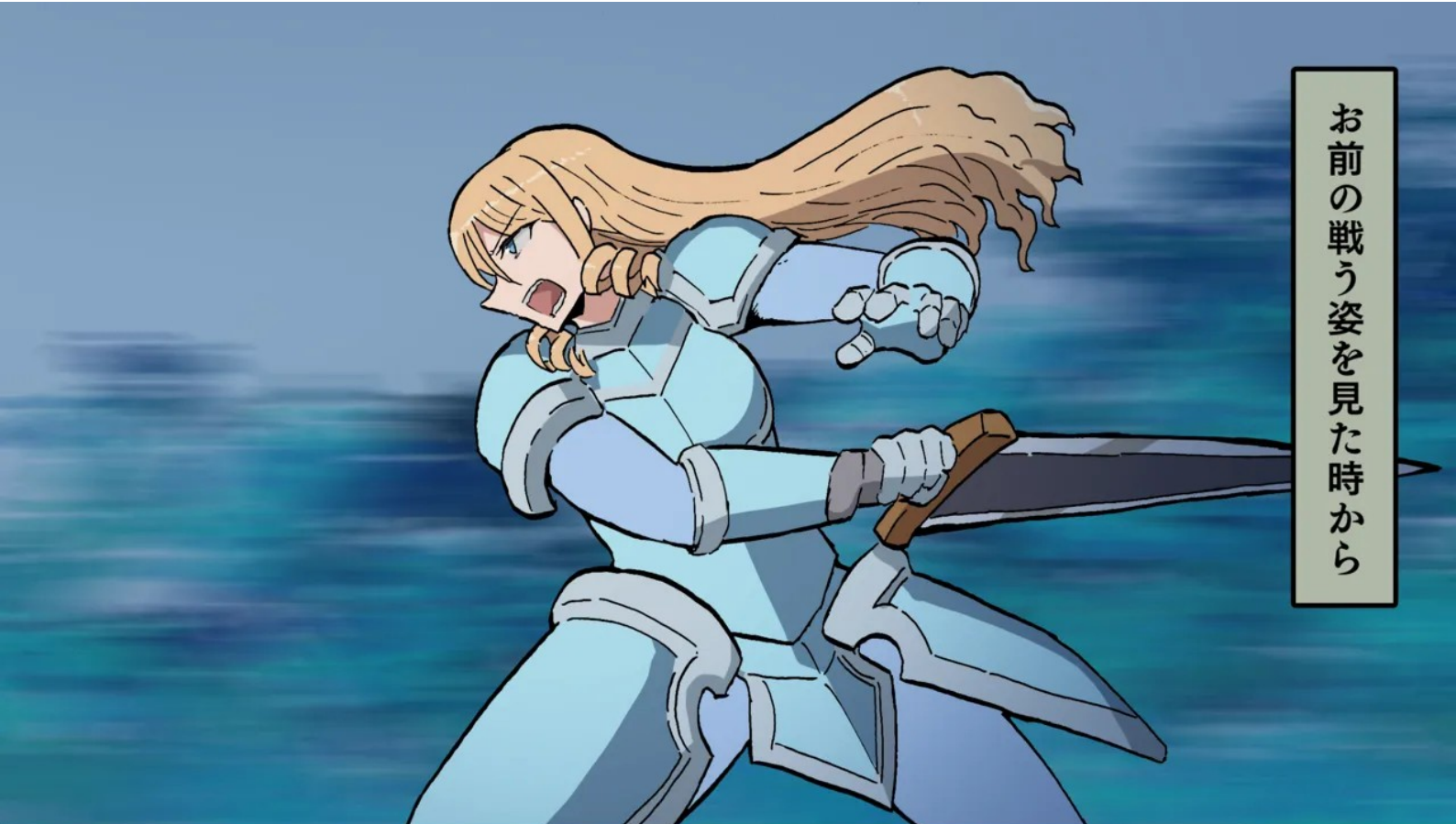


お前の使命は
オレ達と戦う事ではない


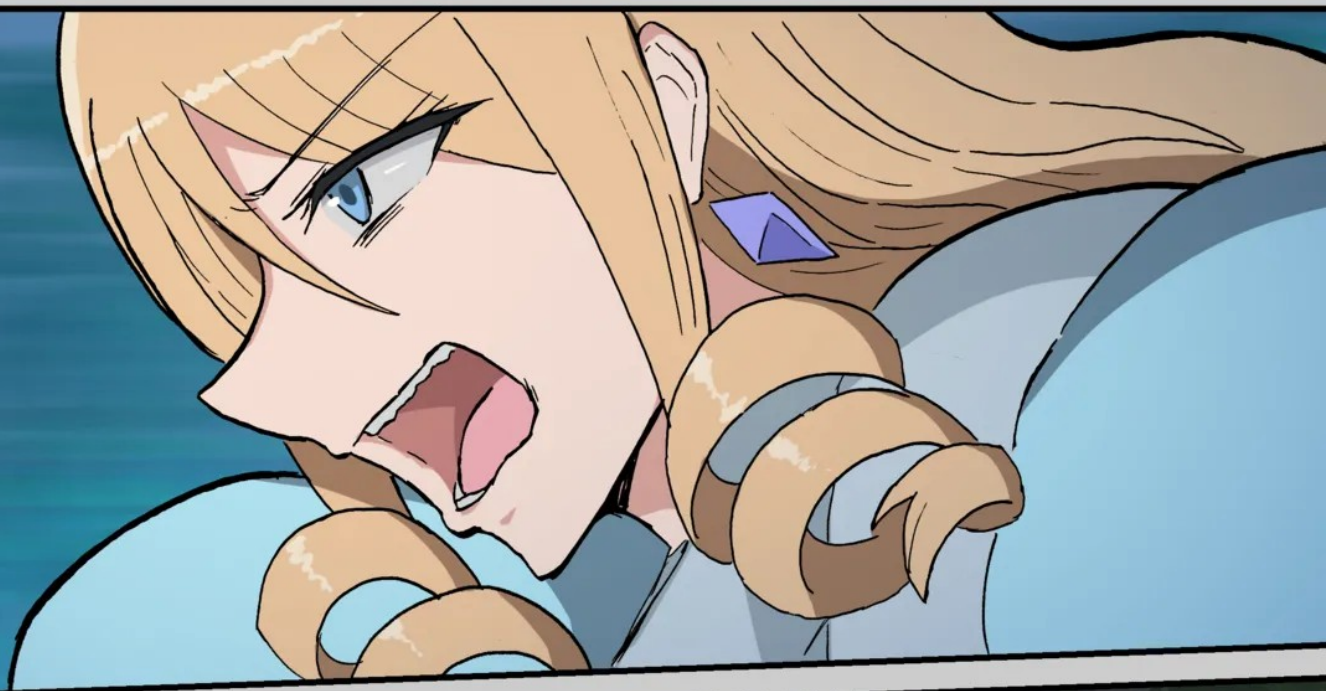
これからはオレの雌として
オレの子どもを産み続けるんだ



あの日



お前の戦う姿を見た時から



必ずお前に
オレの子どもを
孕ませると

決めたんだ

お前は
オレのモノだ

ビュッ
ビュッ

ゴポ
ゴポ



数か月後



私は女騎士だった。



こっちに来るんだ

ムムッ♡
ムムッ♡



もう、そんなに
待ちきれないの♡

でもそれは昔の話だ。

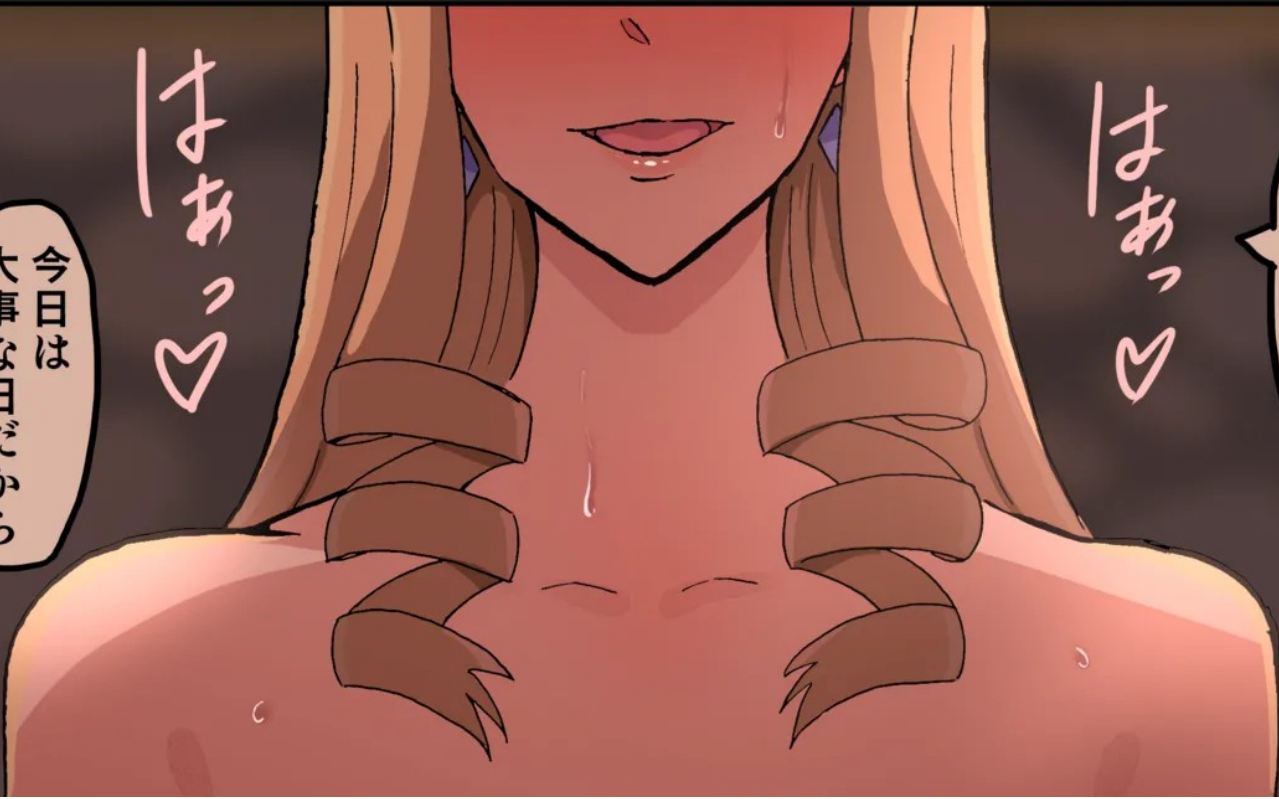


はぁっ♡

安心して

はぁっ♡

今日は
大事な日だから



今はオークの雌として暮らしている

お腹の中の赤ちゃんに

たっぷり栄養を上げてね♡

はぁっ♡

はぁっ♡

おちっ♡

おちっ♡

パサッ

ムアア♡





いやらしいおまんこも
全部貴方好みでしょ♡

ブル♡

グニッ♡



ほら♡見てえ
この熟した大きなおっぱい♡

はぁ♡

ブル♡

ブル♡



こっちも
相手してあげるね

フッ



嬉しい♡

ちゃっ♡

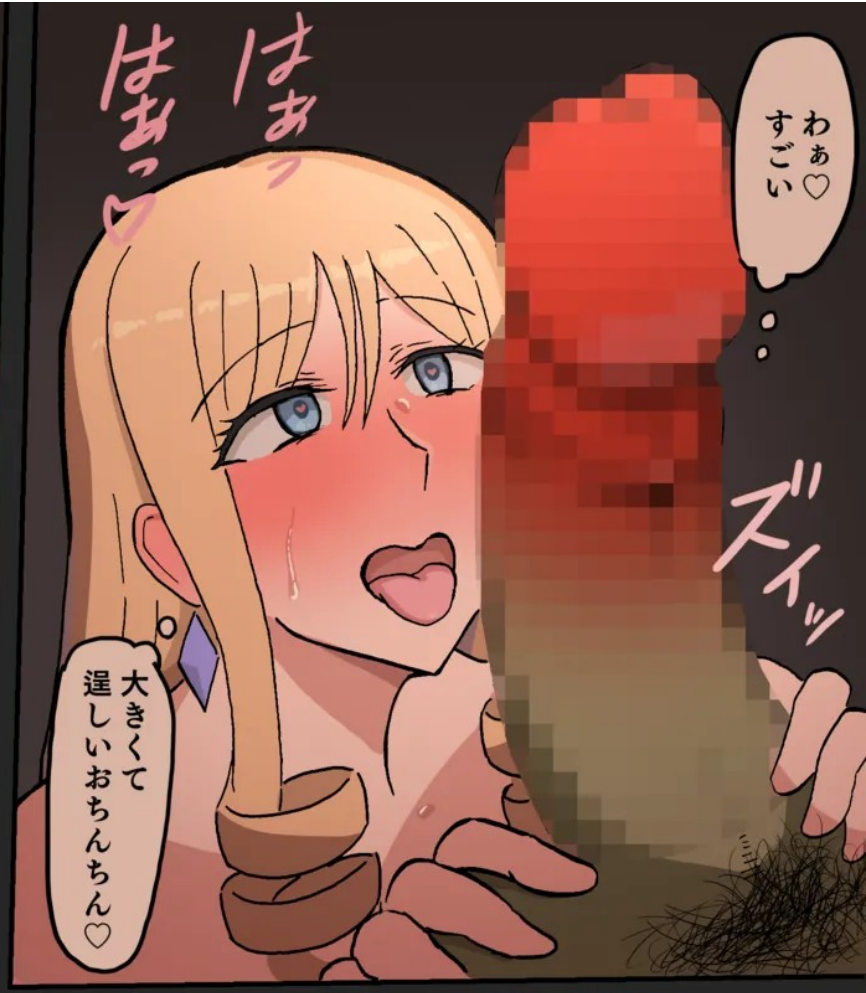
はぁ はぁ

お前は優秀な雌だ



金玉もタップタップ
いっぱい♡

辛そう



わあ♡
すごい

大きくて
遅いおちんちん♡



はぁ♡

ハロオ

はぁ♡

今すぐ出して
あげるからね



はぁ♡

はぁ

はぁ♡

ブルン

クモツ

ツツツツツ







コレ!
これが欲しくて

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ずっとおまんこが
疼いちゃってたの!



相変わらず
お前の中は
気持ちがいいぞ

はぁっ♡
はぁっ♡

ほんとうう
嬉しい♡

もっときもち
よくなってる

は
ん
♡
♡
♡

ズ
ズ
ズ



ほくら
後ろから
も来て♡

ふりっ

ふりっ



グイッ

はやくうっ♡

はあっ
はあっ

もっ
意地悪しないでえっ♡



くぱあっ♡

雌穴の中もよく見て♡
ぜーんぶ貴方の物よ♡



それから私たちは我を忘れ
お互いの身体を求めあっていた。



はぁ♡

はぁ♡
あ♡

はぁ♡

あ♡

はぁ♡



はぁ♡
はぁ♡

立派な雌になっただ

お♡
おおん♡



スツ...

お前の姿だ



その鏡を
見て見ろ



これが
今のお前だ

これが私...

なんて下品な
身体なんだろう

むわあ..♡

ステキ...♡



ここまで変態に
なるとはな

ひどい
幻滅しないでよね

まじか...





今のお前が

一番美しい



恋愛など下らん

私は嫉妬していたんだ



ああ・幸せだ



でも今の私は騎士ではない。

はあ♡

はあ♡

これが雌にされ、愛されることを知った私の姿だ。



騎士だった頃の私は周りから男達を遠ざけてきた。

騎士は一人で生き、平和のために命を捧げるべきだと思いついてきたからだ。



愛されることが

はあ♡

こんなにも幸せな事だなんて知らなかった！

はあ♡

コイツに愛され、求められると
騎士の頃からずっと感じていた空虚な
気持ちや虚しさが消えていく。



はぁ♡
はぁ♡

はぁ♡

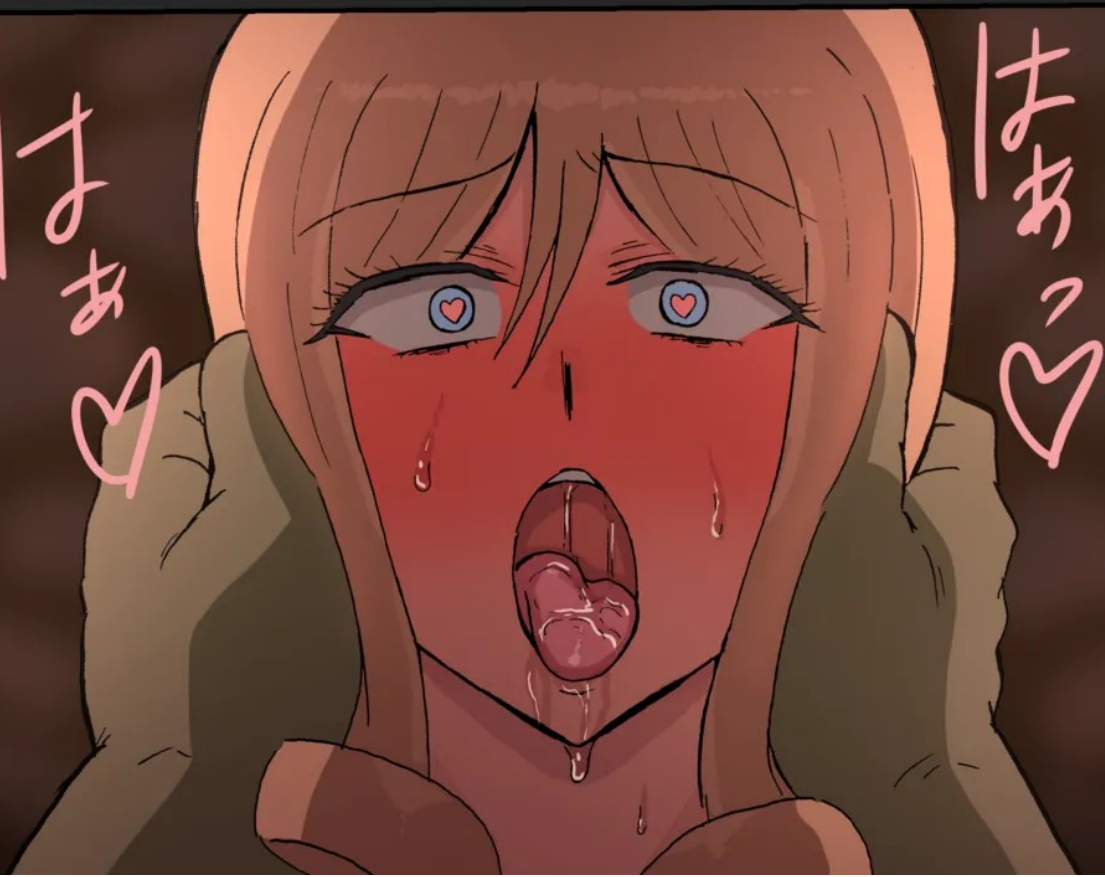
そうだ、私。
あの頃よりも...



はぁ♡

はぁ♡

コイツに愛されて
求められて
コイツのために生きて
ドキドキして



はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

コイツの赤ちゃんを
孕んでる今の私が
好きなんだ...♡

ねえ、わたしね

これからも貴方のおちんちんを
ぐじゅぐじゅのおまんこで
いっぱい包んであげちゃう♡

はあ♡

はあ♡

そしておまんこの中で
せいしどぴゅどぴゅって

タブタブになるまで
受け入れちゃう♡



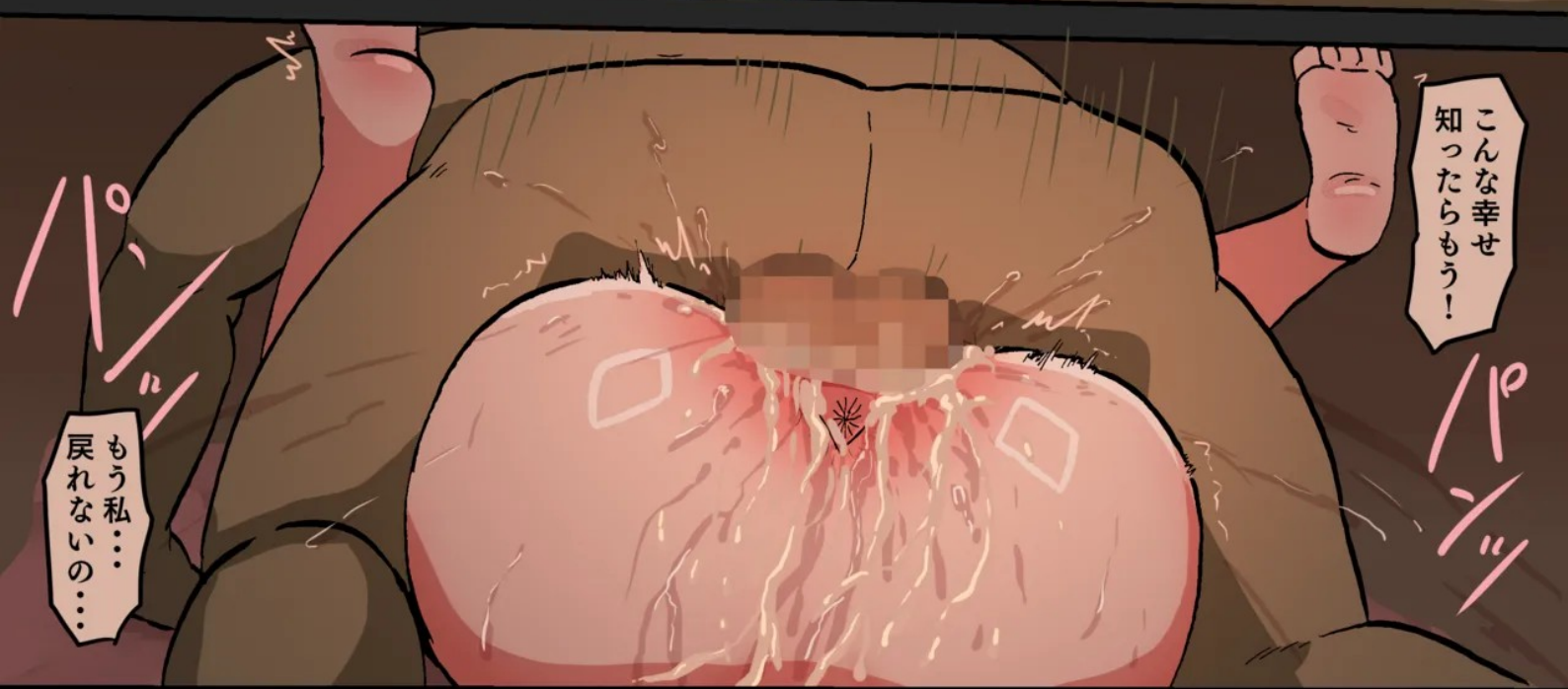
だから…

はあ♡

きいて♡











ほおおおお



ドゥ

クンッ



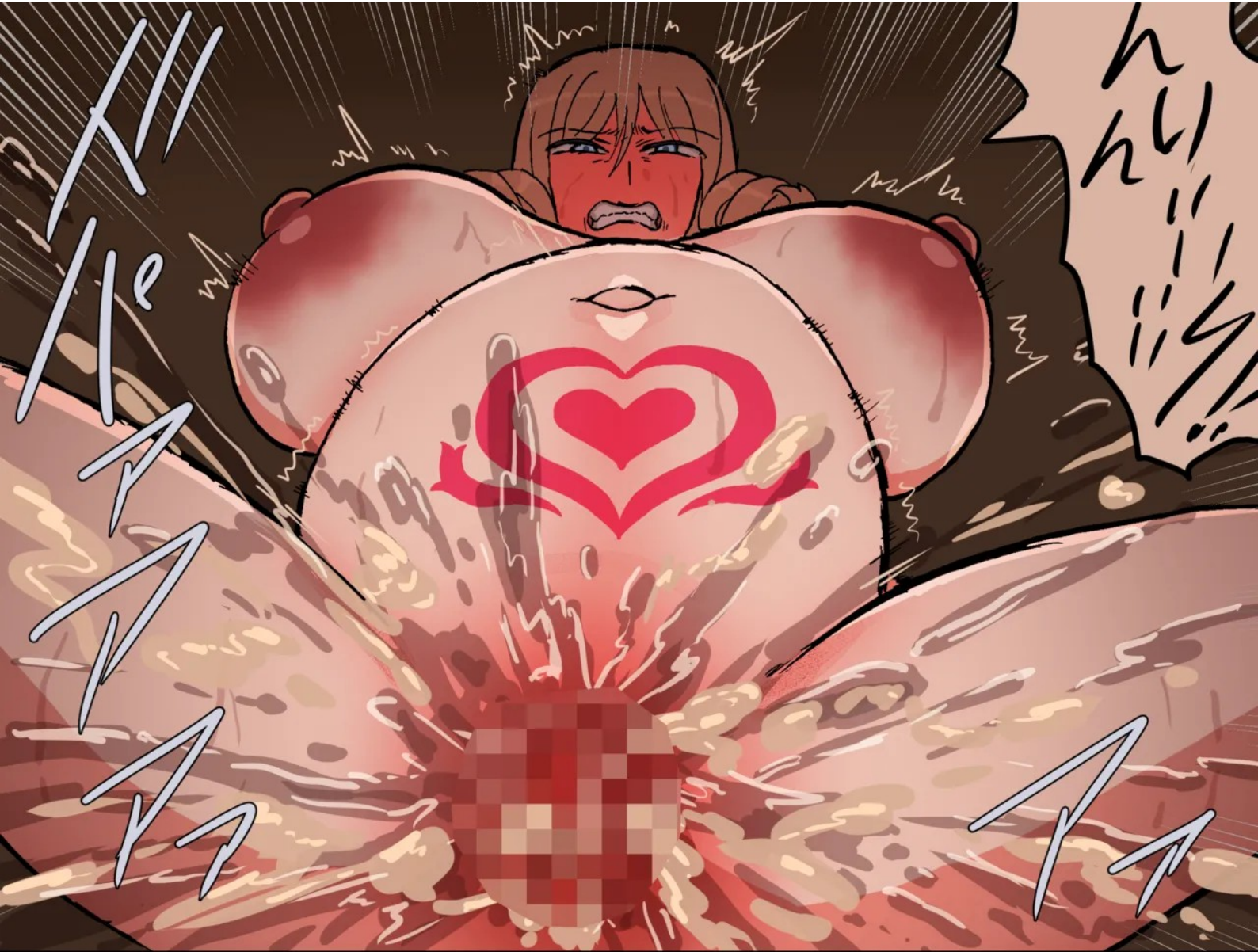
どうやら
来たみたい……!

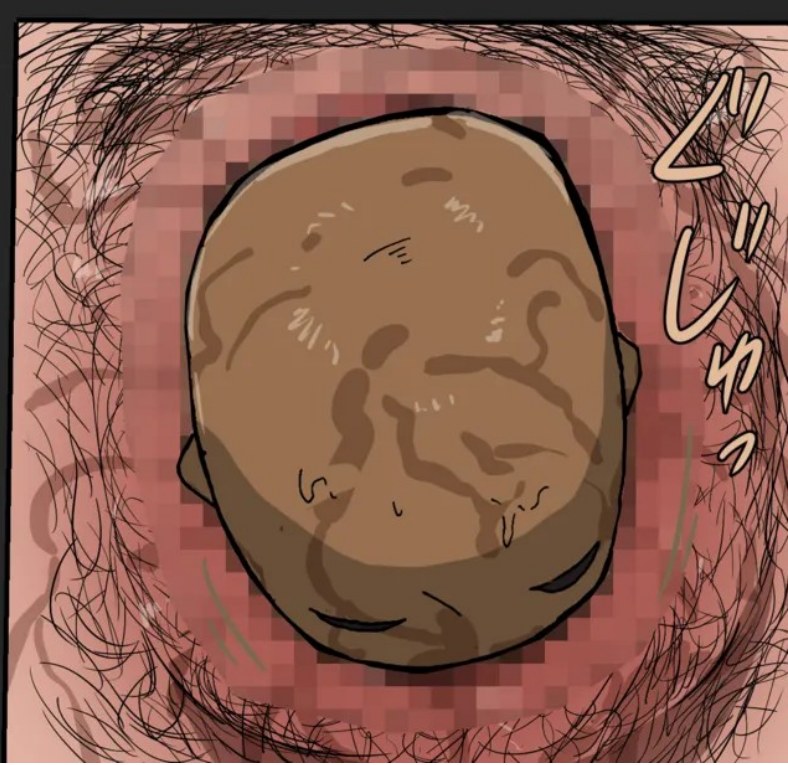
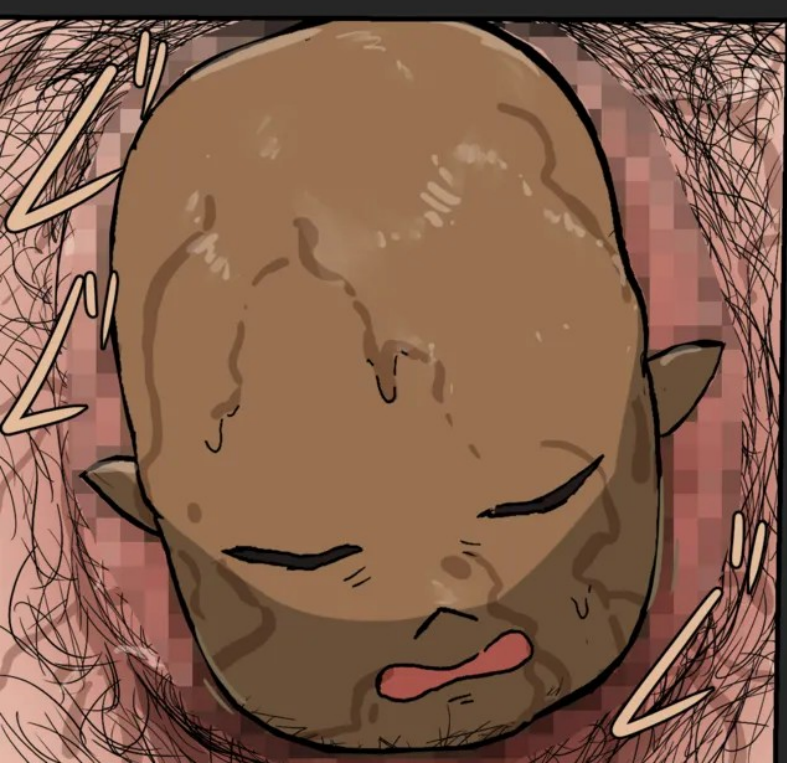


はぁっ

大丈夫か?

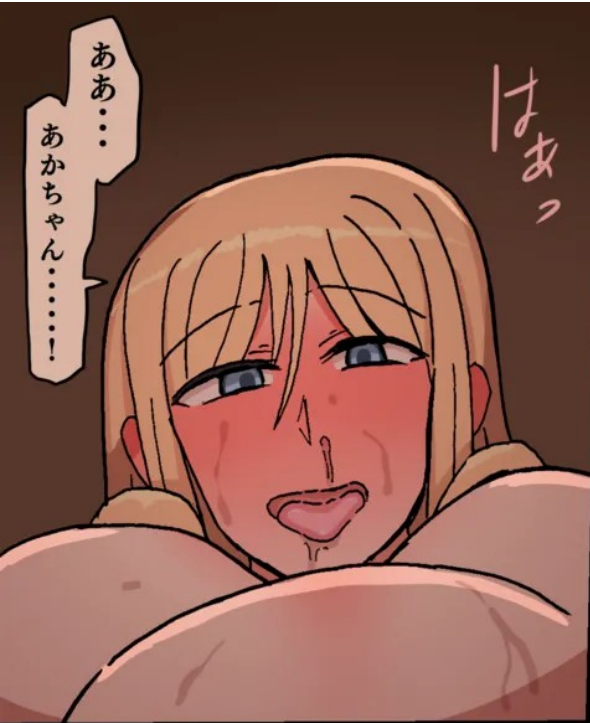
ええ、
ええ











ねえ、女騎士だった頃の私。
見ているかしら？

よくやった……！

今の私は幸せよ。

だってもう一人
じゃないのだから……♡

ザッ
ザッ

終わり

オークの花嫁たち

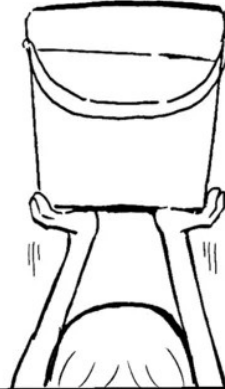
～高潔な女騎士は
雌に墮とされ愛される～

オークの国

おじさん



お野菜
ちようだーい



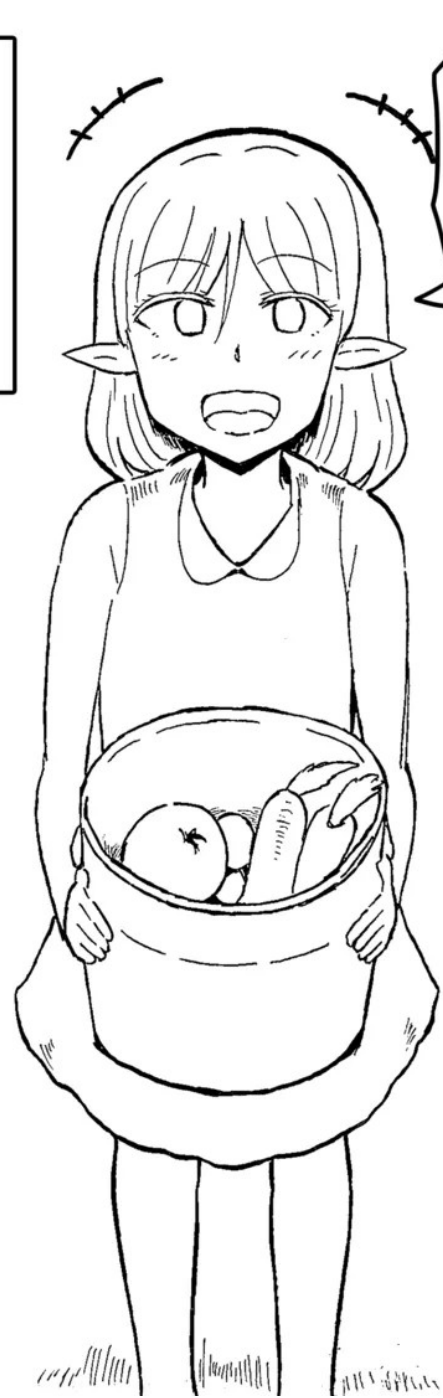
おう、
いつも偉いな

サービス
しとくぞ



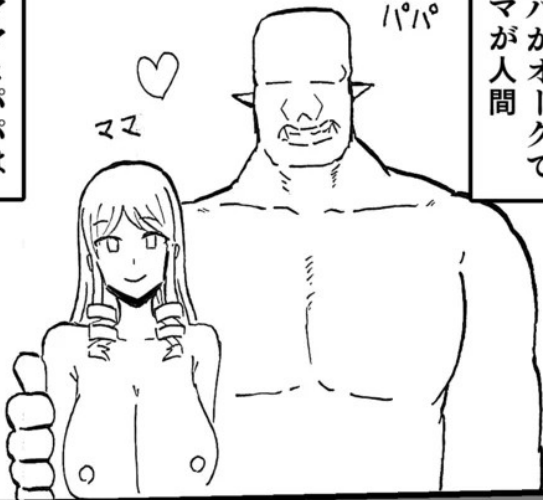
ありがとう!

私の名はアイリル
種族はハーフオーク



パパがオークで
ママが人間

ママとパパは
いつも仲良し



でも
ふと思った



なんでママは
オークのパパと
結婚したんだろう?





オナラは臭い



がさつだし

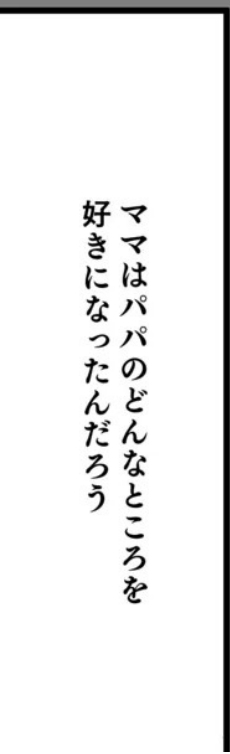
わたしの作ったお城がー!



パパはかっこよくないし



このオークの国にはママ以外にも人間が移り住んでいる始めは「ドレイ」という低い身分らしいけど



ママはパパのどんなどころを好きになったんだろう

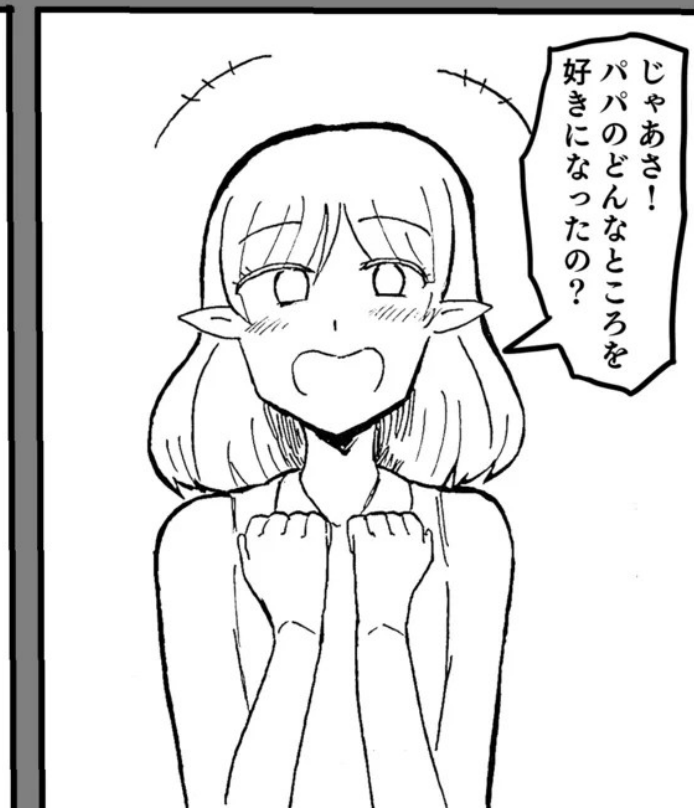
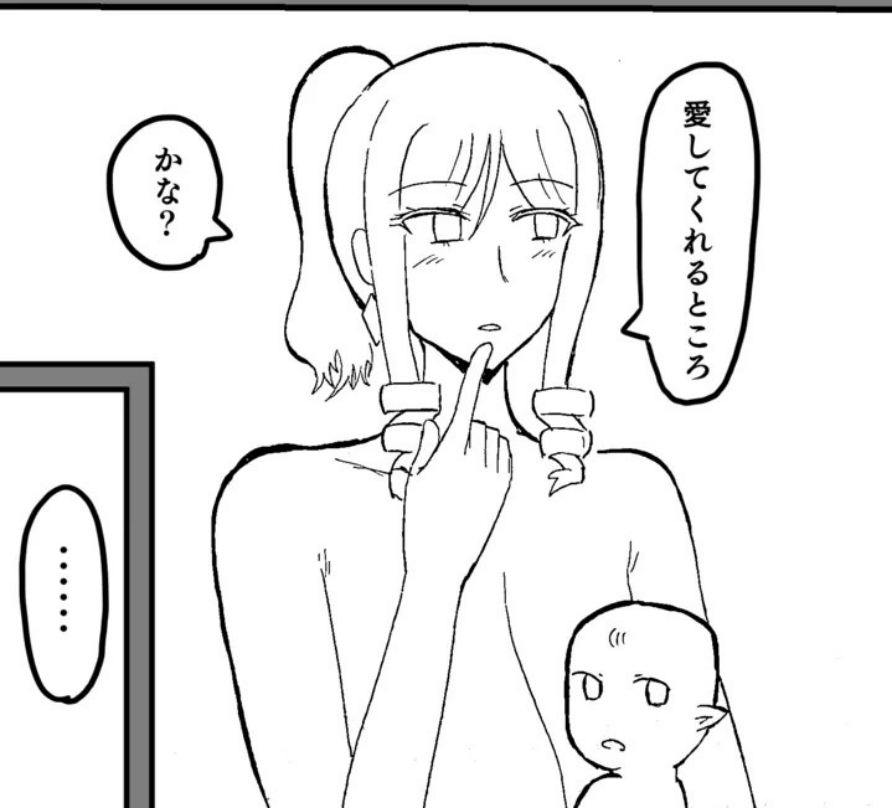
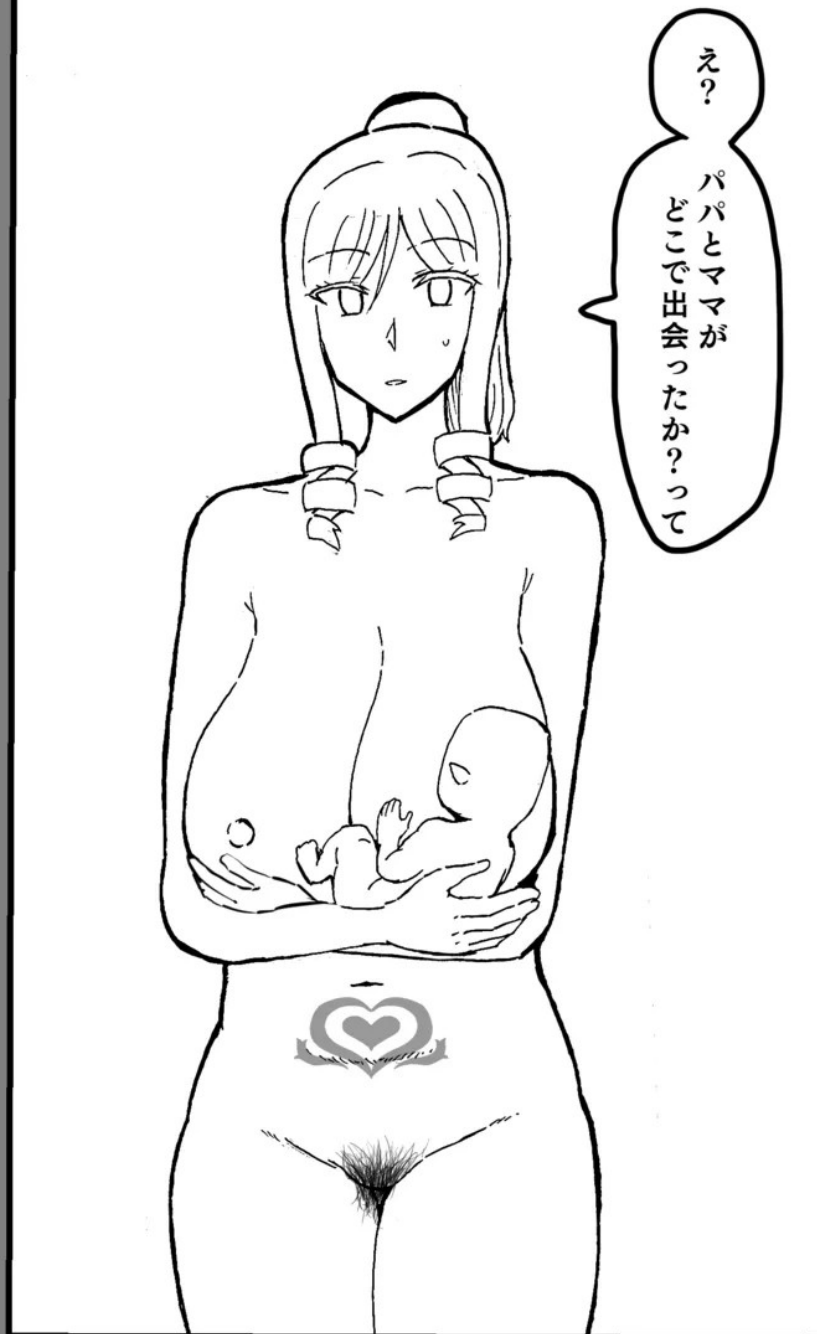
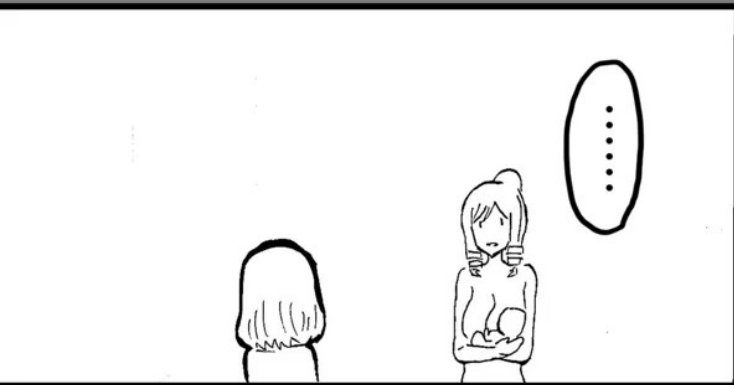


だから人間のママも人間の男の方が好きだと思っ



私はオークの男よりも人間の男の方がカッコいいと思っ

この国の為に働けば偉い立場にもなれるって教えてもらった





ないわよ

でもね、どんな時でも
愛してくれるのって
とても大切な事なのよ



お金持ってたとか
偉いとか
昔はかっこよかった
とか

そういうの
なかったの??



そうよ

それだけ!?!?!??

確かにお金や偉い事や
かっこいい事も大事だけど



パパはね
どんな時でもママの事を
愛してくれた。
そして今でも愛してくれる



愛し続けてくれる人が
貴方の素敵な王子様だから



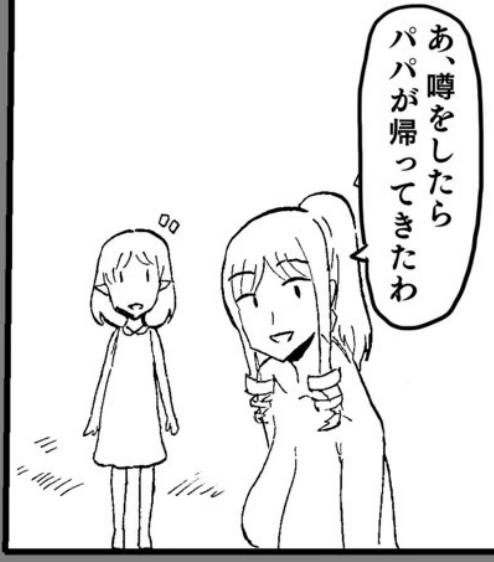
スッ

あなたも
本当に愛してくれる人
と出会うのよ



...

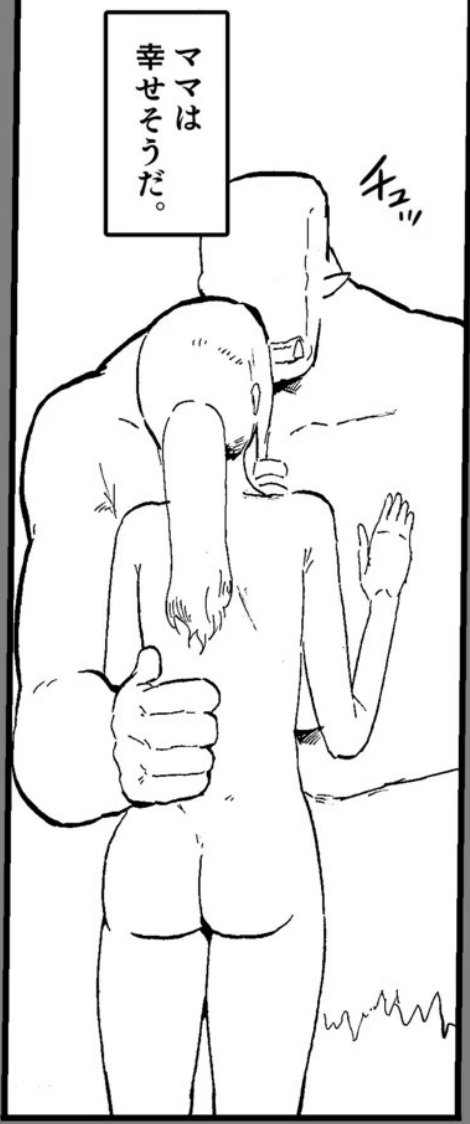
あ、噂をしたら
パパが帰ってきたわ



おかえりなさい

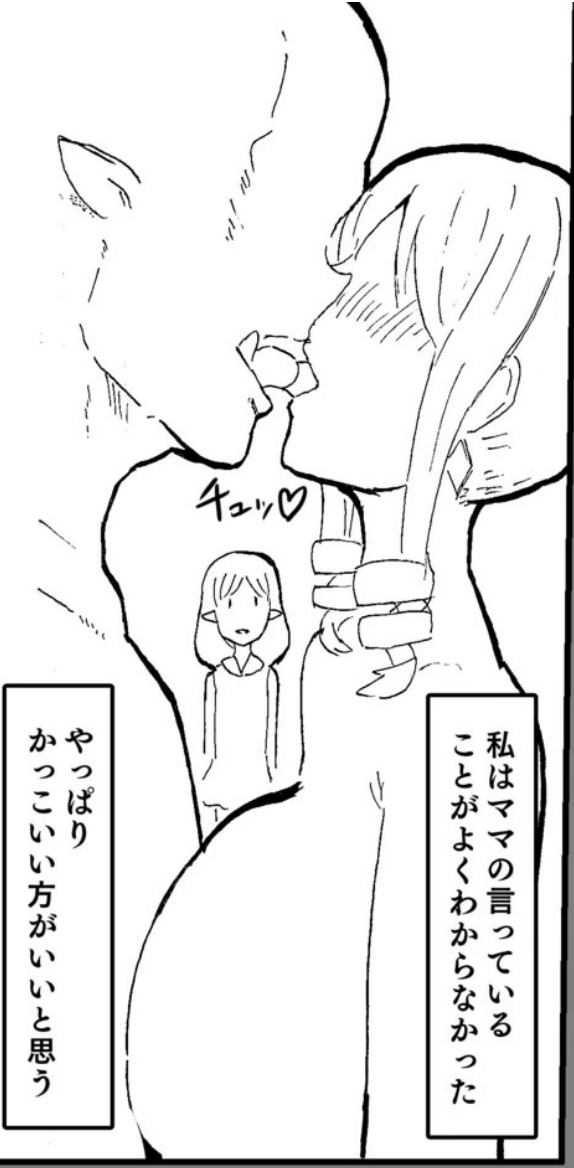


ママは
幸せそうだ。



私はママの言っている
ことがよくわからなかった

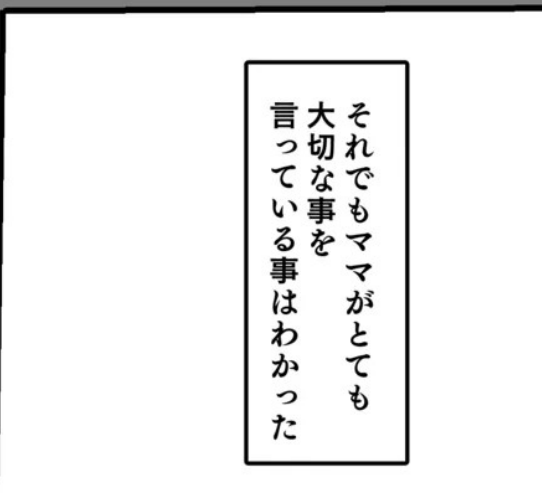
やっぱり
かっこいい方がいいと思う



...

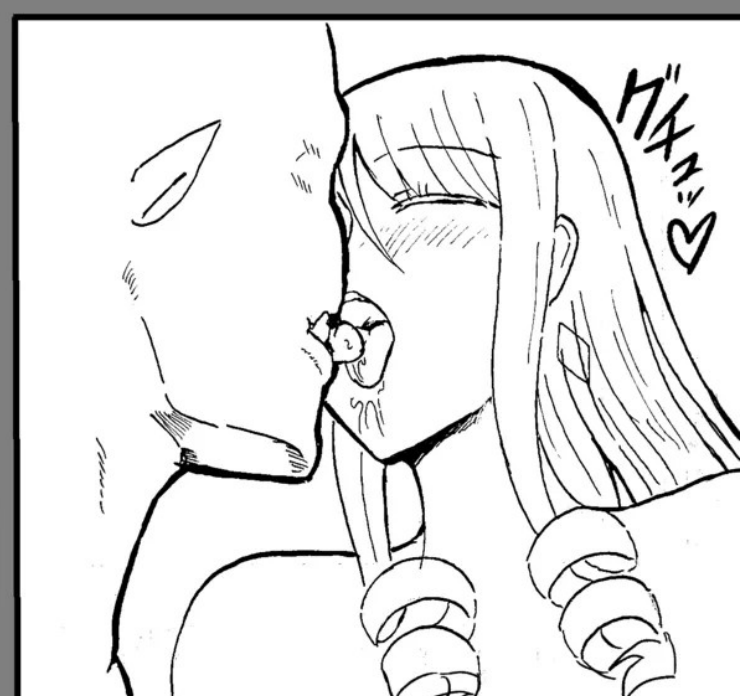


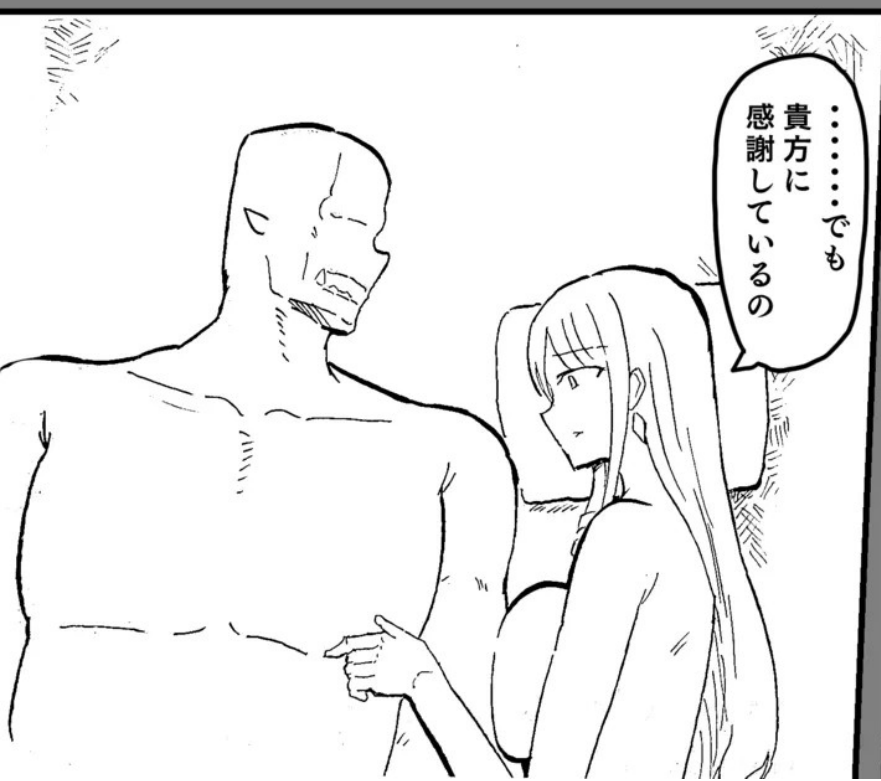
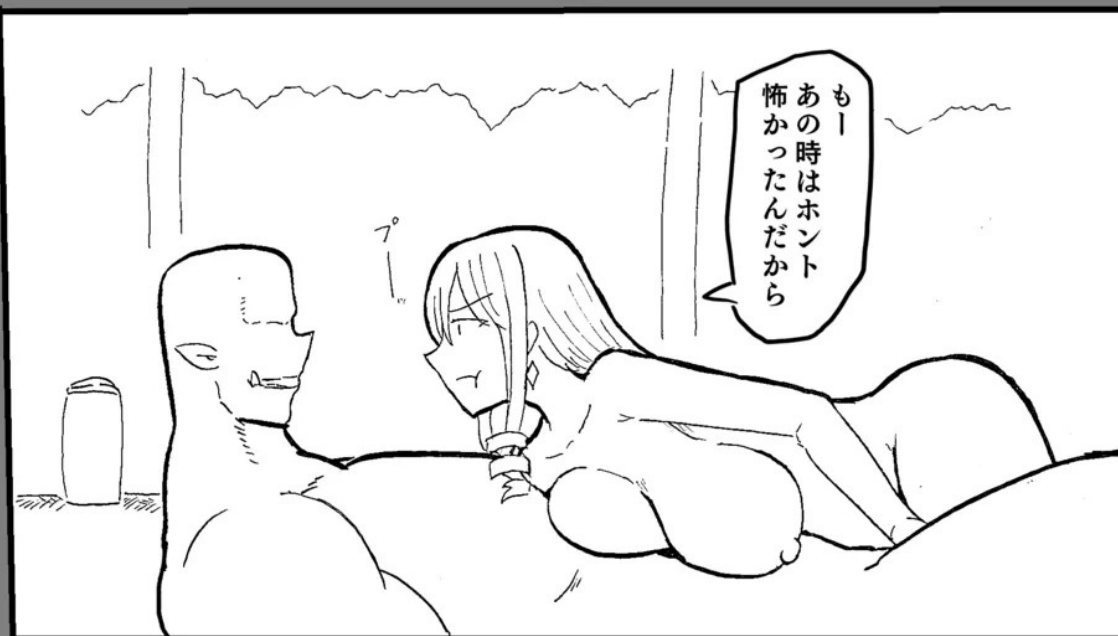
それでもママがとても
大切な事を
言っている事はわかった

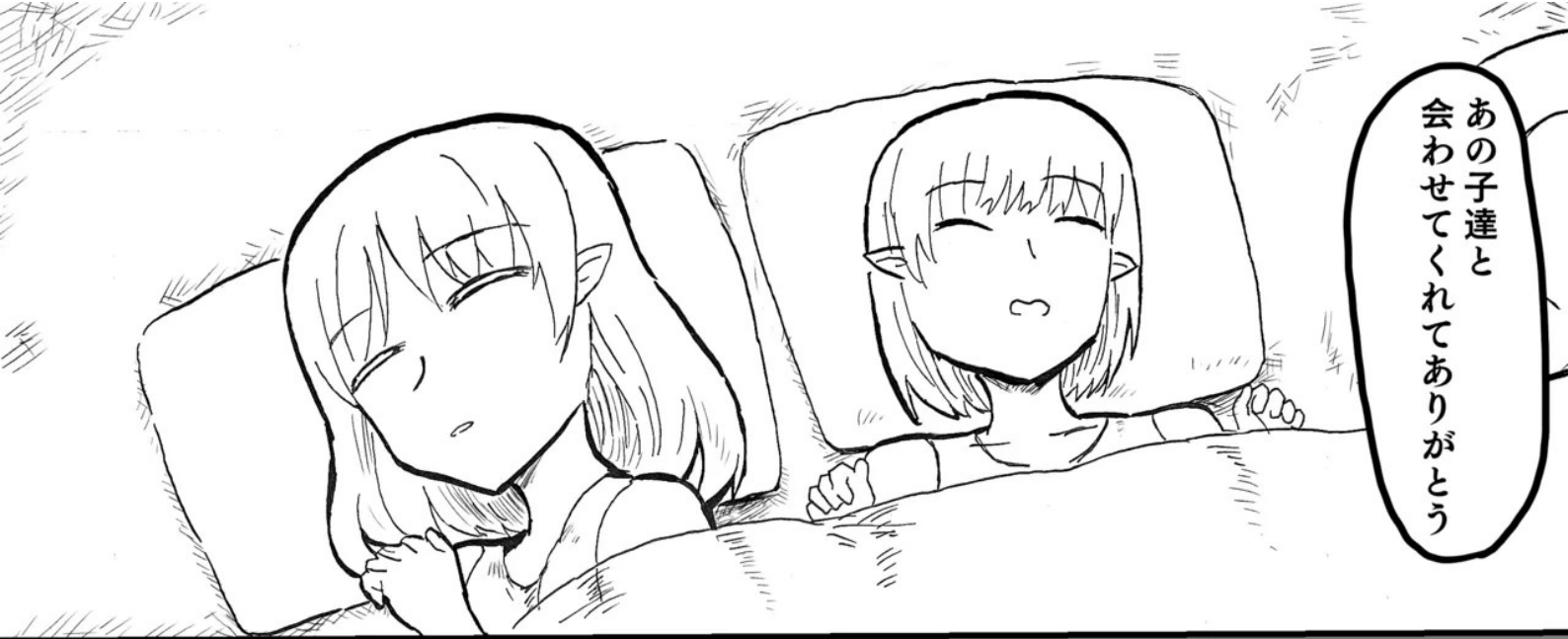


ママが私に
大切な事を伝えようとしている事
それがとても嬉しかった

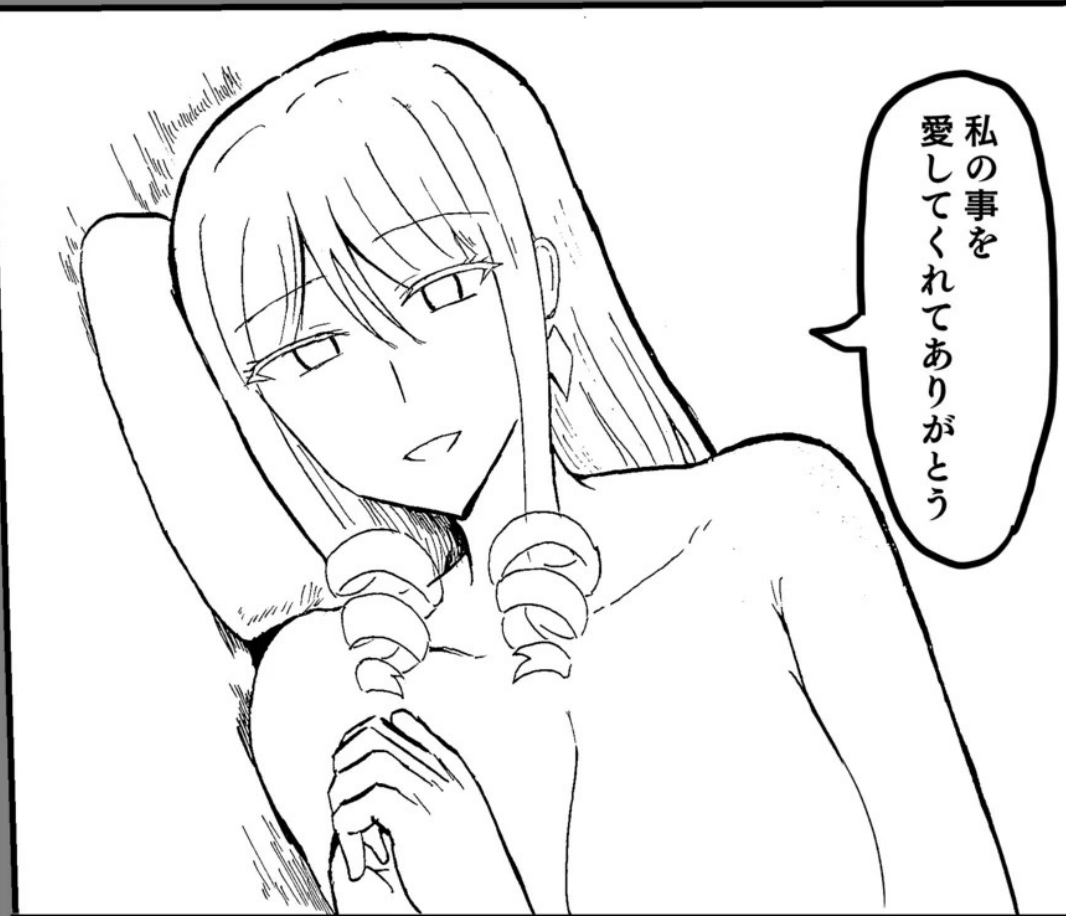




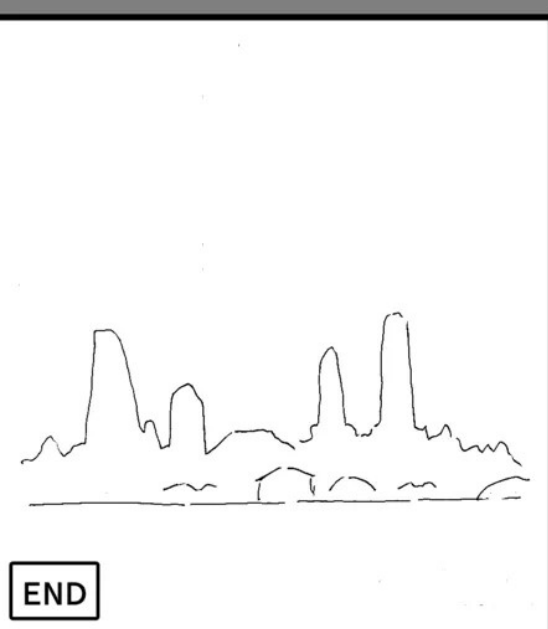




あの子達と
会わせてくれてありがとう



私の事を
愛してくれてありがとう



END

人物紹介



アイリーン

本作のヒロイン。新人騎士の教官。
騎士である事に誇りを感じている。

真面目で厳しい人物と思われるが、実は押しに弱い性格。
ただ、彼女の高潔さから男が言い寄る事はなかった。
本来は数年後の魔族との戦闘で命を落とし、
英霊として祀られるはずがオークとの出会いによって
彼女の運命は大きく変わってしまったのだった。



オーク

オーク族の戦士。アイリーンの旦那。
魔族の集団と戦う彼女に一目ぼれして
自身の雌にするために襲う。
アイリーンを自身の雌にすることに成功し
彼女との間に多くの子どもを作る。



アイリル

ハーフオーク。アイリーンとオークの子ども。
生まれながらに騎士と魔族の両方の力を持っている。
魔族ではあるが、正しい心の持ち主で
母親から多くの大切なモノを受け継いでいる。

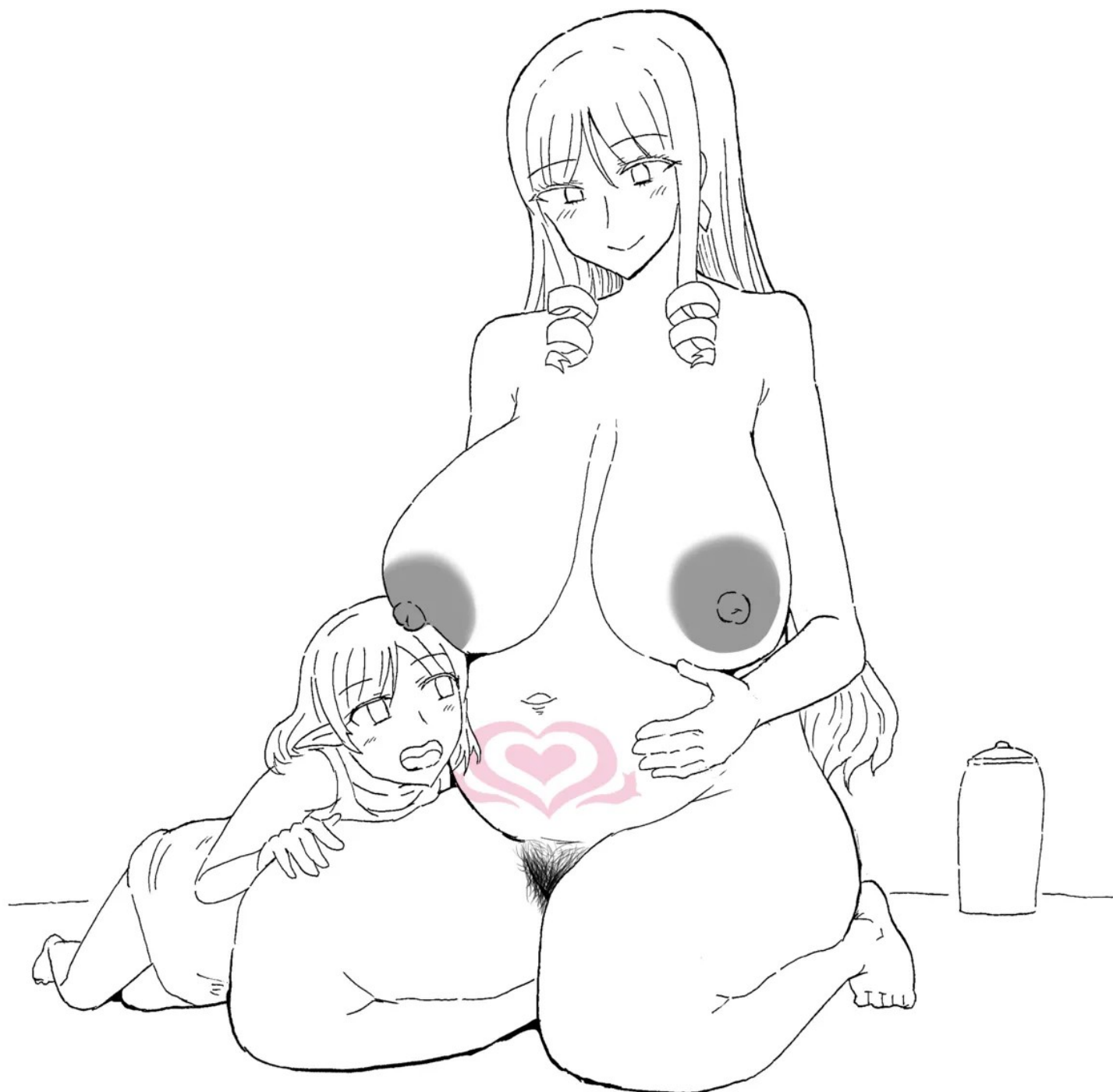
パパとママの事が大好き。



新米騎士(アイリーンの生徒)

行方不明になった先生を悲しみ
自分たちも先生のように弱い者を
守れる騎士を目指す事を志す。

あとがき



読んで頂き本当にありがとうございます！
感想を頂けると今後の励みになります！

今作は前作よりエロシーンに力を入れて制作してみました。

pixivやXでは今作のヒロイン以外のお話もアップしております。
お気に入り登録、フォローして頂けると幸いです。

2025/04/22 yukio

Twitter: @OrcYukio
pixiv : <https://www.pixiv.net/users/56203104>
Fanbox: <https://orcyukio.fanbox.cc/>
Ci-en : <https://ci-en.dlsite.com/creator/16394>